

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 2
	ア. 設置する大学等の現状把握・分析	p. 2
	イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析	p. 2
	ウ. 大学院設置の趣旨目的、教育内容、定員設定等	p. 3
	エ. 学生確保の見通し	p. 4
	A. 学生確保の見通しの調査結果	p. 4
	B. 研究科の分野の動向	p. 5
	C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等	p. 5
	D. 競合校の状況	p. 6
	E. 既設学部等の学生確保の状況	p. 7
	オ. 学生確保にむけた具体的な取り組みと見込まれる効果	p. 9
2	人材需要の動向等社会の要請	p. 10
	① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 10
	② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	p. 11

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ア. 設置する大学等の現状把握・分析

藍野大学は医療保健学部（看護学科・理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科）を有する医療系単科大学であり、平成 16 年の開学以来、高度な専門的技術の獲得と同時に、地域医療に貢献できる人間性豊かな医療人の養成を行ってきた。本学周囲には、創立者を同じくする藍野病院、藍野福祉会などの医療福祉施設がある。特に藍野病院は、精神病床主体の 106 床の病院として昭和 40 年に開設され（令和 4 年現在 一般病床 212、療養病床 144、精神病床 600 の合計 956 床）、その基本理念に『生涯にわたる健康づくり』を実現するための体制を確立し、地域医療に貢献する」とあり、半世紀以上にわたって大阪北摂地域の精神医療、地域医療に貢献してきた。しかし、健康寿命の延伸を考える上で、ケガや病気になってからではなく、その前に身体や認知機能の維持・向上を図ることが必要であると考えている。

藍野大学には、教員一覧の通り、認知科学、臨床心理、高齢者支援、医療工学、スポーツ、健康増進、呼吸器循環器、泌尿器系、腸内細菌などを専門としている教員が在籍しており、「こころと身体健康増進」の発展に寄与できる人材がそろっている。また、「16 設置の趣旨」にも記載しているが、大学や中央研究施設内の研究機材も充実しており、図書も充実している。

上記により、医療専門職養成を基盤とする大学ならではの視点から、健康長寿の延伸に寄与するために、こころと身体健康増進の発展に寄与できる自律した行動能力を持った高度実践専門家や教育・研究者の養成が可能であると考えている。

#### イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析

我が国では少子高齢化により、医療費、介護費などの社会保障関係費が増大している。令和 3 年 10 月の高齢化率は 28.9%とされており、今後も高齢化率は上昇を続け、令和 7 年には 30.0%、令和 32 年には 37.7%になると予測されている。さらに、加齢が大きな要因の 1 つとされる認知症の罹患者も令和 7 年には約 700 万人、令和 12 年には 830 万人、令和 30 年には 1000 万人を超えると推計されている。

少子高齢化が世界的にも例をみない速さで進行している我が国において、ただ寿命を延ばすだけではなく、多くの人々が健康で快適な状態を保つ必要がある。また、令和 2 年に調査された傷病分類別にみた受療率（人口 10 万対）では、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害は入院総数 113、外来総数 40 であり、気分障害は入院総数 22、外来総数 72 であった【資料 1】。さらに、呼吸循環・代謝系の疾患や筋骨格系及び結合組織の疾患の入院・外来総数は非常に多い。

これらのことから、健康寿命を延伸するためには、「若い時から認知症予防を含めた健康

づくりに励み、高齢期に入ってから、病気あるいは介護の必要な状態にならない」よう取り組む必要がある。そのためには、ケガや病気を「予防」するために、身体や認知機能の健康な状態を維持・向上する「健康増進」を勧めていくことが大切である。このような「高齢者だけではなく、若い時から健康づくりに励む社会をつくる」という社会的要望に応えるため、学校法人藍野大学は、藍野大学大学院健康科学研究科を設置する。

そこで、施設管理者に本研究科の特徴を説明したうえで、社会的必要性についてアンケート調査を実施した【資料2】【資料3】。100施設に送付し、31施設より回答が得られ、「とても必要だと思う」が45.2%（14名）であり、「ある程度必要だと思う」が54.8%（17名）となっており、「あまり必要だと思わない」や「まったく必要だと思わない」は0%（0名）であった。これらのことから、大学院設置の社会的必要性はあると考えている。

## ウ．大学院設置の趣旨目的、教育内容、定員設定等

（研究科がどのように貢献できるのか）

ア・イのように本研究科では、健康科学に関わる諸問題に対して、スポーツ科学、身体構造学、認知神経学等の観点から基礎的原理と真理を追究し、応用・実践を視野に入れた学際的理解を基軸とする新たな健康科学の創造・増進を追究できる能力を修得させる。また、医療専門職養成を基盤とする大学ならではの視点から、健康長寿の延伸に寄与するために、こころと身体の健康増進の発展に寄与できる自律した行動能力を持った高度実践専門家や教育・研究者を養成したいと考えている。医療従事者は、疾患について注目しがちであるが、健康増進について知識を持ち、再発予防に対する指導の実施や、地域住民に対して知識の共有や運動指導を実施できる人材を養成することで、まずは各個人の関わる地域から健康増進活動を実施し、社会に貢献できると思われる。個人でできることから実施することで、社会が変わっていくものと考えている。

（定員設定の理由）

本研究科では、プレゼンテーションや討議、能動的学習を始めとした実践的な教育・研究を実施することから、少人数での教育が主であると考え、入学定員6名、収容定員12名とする。この定員設定については、教育方法や環境のほか、大学生、社会人、リハビリテーション部門管理者を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ、社会的な需要などを総合的に判断し、設定を行っており、定員充足に問題がないと判断している。

（今、研究科を設置しなければならない理由）

少子高齢化が世界的にも例をみない速さで進行している我が国において、ただ寿命を延ばすだけではなく、多くの人々が健康で快適な状態を保つ必要がある。このように健康寿命を延伸するためにも、「若い時から認知症予防を含めた健康づくりに励み、高齢期に入ってから、病気あるいは介護の必要な状態にならない」よう取り組む必要がある。そのためには、ケガや病気を「予防」するために、身体や認知機能の健康な状態を維持・向上する「健康増進」を勧めていくことが急務である。これらの理由からできるだけ早い時期に設置することが望ましいと考えている。

(入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠)

本研究科の学生納付金は、入学金(10万円)、授業料(60万円)及び施設設備費(15万円)で構成されている。入学金は本学(出身)からの入学者は免除される。本研究科の教育課程では、外部の実習施設は一部の演習授業以外は原則として利用せず学内での講義、演習、研究指導で修了が可能のため、近隣の健康科学研究科を設置している大学を参考に、できるだけ学費を抑えた。修士課程(博士前期課程含む)で健康科学研究科あるいは健康科学コースをもつ大学は、近畿圏内において、国立大学では大阪教育大学大学院健康科学専攻(募集停止)のみであり、私立大学では帝塚山学院大学大学院、京都橘大学大学院、畿央大学大学院の3大学院である。下記の表のように他の私立大学の研究科と比較しても初年度の学生納付金がほぼ変わらない額としており、就労中の社会人にとっても過大な負担とならないよう配慮している(表1)。なお、授業料については、半期ごとの納入も可能とする。

表1 近隣の健康科学研究科あるいは健康科学コースのある大学院の授業料

大学院名	研究科 (コース)	入学金	授業料	教育充実費	実験実習費 同窓会費	総額
帝塚山学院 大学大学院	健康科学 コース	20万円	56万円	12万円	4万円	92万円
京都橘大学 大学院	健康科学 研究科	20万円	40万円	12.5万円	0円	72万5千円
畿央大学 大学院	健康科学 研究科	19万円	50万円	25万円	1万6千円	95万6千円

## エ. 学生確保の見通し

### A. 学生確保の見通しの調査結果

需要の具体的なエビデンスとなる調査として、アンケートを実施した。アンケートの対象は本学医療保健学部の理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科の3・4年生、現職者(卒業生ならびに卒業生の同僚)とした。これらのアンケートはすべてwebを活用した。

アンケート調査の集計結果は【資料3】に記載している。

在校生による結果は、274名(理学療法学科181名、作業療法学科71名、臨床工学科22名)が回答しており、178名(65%)が本研究科に「進学してみたいと思う」「機会があれば進学したいと思う」と答えている。

現職者の結果は、135名(理学療法士85名、作業療法士45名、言語聴覚士5名)より回答を得ており、本研究科に「進学してみたいと思う」が全体の10.4%の14名、「機会があれば進学したいと思う」が全体の57%の77名という結果となった。社会人については、本学が現在構想している研究科について合格した場合の進学希望を訊いてみたところ、「進学したいと思う」が68.1%の92名を数えた。

社会人の進学希望者は予想よりもかなり多いものであるが、次年度すぐに受験を希望する数は限定的と思われる、前の質問で本研究科に「進学してみたいと思う」と回答した14名程度と

いうのが固い数字と思われる。

アンケートに掲げた人材養成像その他の特色についても、在学生、現職者ともに肯定的に評価してもらっており、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した率は80%前後であり非常に高かった。

以上の結果から、本研究科の学生確保については、学部卒業生及び社会人から少なくとも10名以上の志願者を募ることが可能と考えている。また、本学の位置（大阪府茨木市）であるが、JR京都線、阪急京都線に最寄駅をもち、大阪府中～北部、京都府南部、滋賀県西部からの通学が容易である。大阪府の人口は、2022年4月において約878万人であり、茨木市に隣接する北摂地域7市（茨木市・池田市・吹田市・摂津市・高槻市・豊中市・箕面市）の人口は約175万人、また約273万人が居住する大阪市中心部からも50分前後で通学可能である【資料4】。滋賀県の人口約140万人、京都府の人口約255万人【資料5】の半数以上が通学圏内に位置する。本研究科設置が徐々に周知されることで、(イ)に記した社会的背景からも中・長期的な学生確保の見込みも持てると考えている。

## B. 研究科の分野の動向

修士課程（博士前期課程含む）で健康科学研究科あるいは健康科学コースをもつ大学は、近畿圏内において、国立大学では大阪教育大学大学院健康科学専攻（募集停止）のみであり、私立大学では帝塚山学院大学大学院、京都橘大学大学院、畿央大学大学院の3大学院である。これらの大学の健康科学研究科あるいは健康科学コースの定員充足状況については、下記の表2で示した大学を見た限りでは受験者も確保されており好調な状況が保たれている。

以上の社会的背景、統計データからは、学部卒の学生及び社会人、リハビリテーション部門管理者により、本研究科の入学定員6名の学生確保は、中長期的にも可能であると考えられる。

表2 2022年度大学院 志願者・受験者・合格者数

大学院	志願者数	受験者数	合格者数
帝塚山学院大学大学院	1	1	1
京都橘大学大学院	28	24	17
畿央大学大学院	31	31	31

## C. 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

リクルート進学総研は、「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2020年」を公開しており、18歳人口は2032年に102.4万人となり、2020年から14.3万人減少すると予測している。

有資格者に目を向けると、公益社団法人理学療法士協会に所属している理学療法士数は2022年時点で133,133人であり、大阪府には9,551名が登録されている（理学療法士協会 統計情報：<https://www.japanpt.or.jp/activity/data/>）。作業療法士は、2020年時点で有資格者数は94,255人であり、大阪に所属している会員数は3178名とされている（会員統計資料：

<https://www.jaot.or.jp/files/page/jimukyoku/kaiintoukei2019.pdf>)。臨床工学技士は2020年時点で、臨床で働いている数は、30408名となっている(令和2年医療施設調査・病院報告の概況：<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/20/index.html>)。

研究科設置にあたり、需要の具体的なエビデンスとなる調査として、アンケートを実施した。アンケートの対象は本学医療保健学部の理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科の3・4年生、現職者(卒業生ならびに卒業生の同僚)とした。これらのアンケートはすべてwebを活用した。ここでは、現職者アンケートへの結果の一部を記載する。【資料3】

現職者の結果は、135名(理学療法士85名、作業療法士45名、言語聴覚士5名)より回答を得ており、現時点で修得されている学位については、「修士」は135名中9名(6.7%)であった。本研究科に「進学してみたいと思う」が全体の10.4%の14名、「機会があれば進学したいと思う」が全体の57%の77名という結果となった。社会人については、本学が現在構想している研究科について合格した場合の進学希望を訊いてみたところ、「進学したいと思う」が68.1%の92名を数えた。

社会人の進学希望者は予想よりもかなり多いものであるが、次年度すぐに受験を希望する数は限定的と思われる、前の質問で本研究科に「進学してみたいと思う」と回答した14名程度というのが固い数字と思われる。

#### D. 競合校の状況

A・Bに記載している通り、本学の位置(大阪府茨木市)であるが、JR京都線、阪急京都線に最寄駅をもち、大阪府中～北部、京都府南部、滋賀県西部からの通学が容易である。競合校としては、JR湖西線、山科駅(京都府)に最寄駅のある京都橘大学大学院が挙げられる。

表3に京都橘大学大学院健康科学研究科の状況を示す。

表3 2021・2022年度京都橘大学大学院健康科学研究科博士前期課程の状況

大学院	年度	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定位補充率
京都橘大学大学院	2022	28	24	17	16	1.04
京都橘大学大学院	2021	12	12	10	10	

京都橘大学大学院健康科学研究科では、理学療法学コース、作業療法学コース、臨床心理コース、心理学コース、救命救急学コースに分けられており、主に治療学について追究する大学院となっている。本研究科の認知健康科学領域と身体健康科学領域は、主にこころと身体健康増進に焦点を当てており、内容は異なっている。

アンケートに掲げた人材養成像その他の特色についても、在学生、現職者ともに肯定的に評価してもらっており、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した率は80%前後であり非常に高く、Cで記載したように、現職者において本研究科に「進学してみたいと思う」が全体の10.4%の14名、「機会があれば進学したいと思う」が全体の57%の77名という

結果であったことから、学生確保の見込みも持てると考えている。

#### E. 既設学部等の学生確保の状況

本学には既設の大学院として看護学研究科、既設の学部として医療保健学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科）がある。

医療保健学部としては、過去5か年では入学定員に対する入学者数の比率が 1.04 から 1.15 の間、収容定員に対する在籍学生数比率が 1.08 から 1.14 の間で堅調に推移している（表4）。

表4 過去5か年の入学者確保状況

			2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
医療保健学部	入学者数		273	273	306	339	314	
	入学定員		250	250	295	295	295	
	定員充足率		1.09	1.09	1.04	1.15	1.06	
看護学科	志願者数	延べ人数	729	895	1210	1150	917	
		実人数	455	361	465	392	359	
		内併願者実数	17	8	11	12	13	
	受験者数	延べ人数	693	865	1147	1069	863	
		実人数	437	346	443	376	331	
		内併願者実数	17	8	10	10	13	
	合格者数	延べ人数	189	284	298	312	292	
		実人数	172	179	209	186	188	
		内併願者実数	6	4	3	1	5	
	入学者数		92	95	115	128	123	
	入学定員		90	90	115	115	115	
	定員充足率		1.02	1.06	1.00	1.11	1.07	
	理学療法学科	志願者数	延べ人数	363	568	585	551	528
			実人数	265	260	292	235	245
			内併願者実数	75	42	83	52	67
受験者数		延べ人数	353	554	562	514	507	
		実人数	256	253	286	222	243	
		内併願者実数	75	41	80	47	67	

	合格者数	延べ人数	165	195	253	403	326
		実人数	151	135	180	192	180
		内併願者実数	27	14	17	30	32
	入学者数		98	89	106	120	118
	入学定員		80	80	100	100	100
	定員充足率		1.23	1.11	1.06	1.20	1.18
作業療法学 科	志願者数	延べ人数	164	207	288	234	154
		実人数	130	117	158	111	89
		内併願者実数	67	67	87	59	50
	受験者数	延べ人数	161	201	277	219	141
		実人数	128	115	155	104	85
		内併願者実数	65	66	86	55	47
	合格者数	延べ人数	113	119	134	199	140
		実人数	97	83	108	103	84
		内併願者実数	43	41	51	54	46
	入学者数		45	43	48	37	40
	入学定員		40	40	40	40	40
	定員充足率		1.13	1.08	1.20	0.93	1.00
臨床工学科	志願者数	延べ人数	111	172	185	165	144
		実人数	95	101	105	88	70
		内併願者実数	33	26	36	18	15
	受験者数	延べ人数	106	169	179	157	140
		実人数	90	100	103	85	69
		内併願者実数	29	26	35	18	15
	合格者数	延べ人数	90	118	126	130	122
		実人数	77	76	88	79	69
		内併願者実数	21	15	29	17	15
	入学者数		38	46	37	54	33
	入学定員		40	40	40	40	40
	定員充足率		0.95	1.15	0.93	1.35	0.83

看護学科では、収容定員数を2018年度に80名から90名に、さらに2020年度には115名に増員変更している。理学療法学科も2020年度に80名から100名に増員変更している。社会から求められる、看護師をはじめとする医療従事者の増員に応えるための変更であり、看護学科、理学療法学科ともに定員増により収容定員が未充足になることは生じていない。一方、作業療法学科では、2021年度に未充足、臨床工学科では2018年度、2020年度、2022年度に未充足、

2021年度に超過となり安定性を欠いている。近年の医療従事者養成大学の増加により、受験者数が減少傾向である点や歩留まり率の予想が困難であることから生じていることから、学生の受け入れを安定化するためにも、特に高大連携について注力していくことを検討している。

看護学研究科の入学定員に対する入学者数比率（表5）については、2019年度、2021年度が0.67と定員枠より減となっているが、その他の年度は1.00～1.17と推移し、学生確保の目標はおおむね達成している。本学では大学院生募集において、「藍野大学キャリア開発・研究センター」で実施している認定看護管理者教育課程ファーストレベル及びセカンドレベル受講者に看護学研究科修士課程入学説明会の案内を行うことで、一定の志願者、定員を満たすことができている。また、収容定数に対する在籍学生数比率（表6）では、2022年度に1.34と高値を示したが、これは長期履修制度を選択する大学院生が16名中4名と増加したことによる。その他の年度では1.00～1.17と適切に推移している。

表5 研究科の入学定員に対する入学者数比率（各年5月1日時点）

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
入学定員(A)	6	6	6	6	6	6
入学者数(B)	6	6	4	7	4	7
入学者数比率B/A	1.00	1.00	0.67	1.17	0.67	1.17

表6 研究科の収容定数に対する在籍学生数比率(各年5月1日時点)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
収容定員(A)	12	12	12	12	12	12
在籍学生数(B)	14	14	12	13	12	16
在籍学生数比率B/A	1.17	1.17	1.00	1.08	1.00	1.34

以上のことから、既設の学士課程・修士課程ともに、適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していると判断できる。

本研究科の学生確保については、既設の学科からは理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科からの進学を想定しており、エ-Aにも記載しているが、在校生によるアンケート結果は、274名（理学療法学科181名、作業療法学科71名、臨床工学科22名）が回答しており、178名（65%）が本研究科に「進学してみたいと思う」「機会があれば進学したいと思う」と答えている【資料3】。これらのことから、入学定員6名の学生確保は可能であると考えている。

#### オ. 学生確保にむけた具体的な取り組みと見込まれる効果

本学の理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科の学生には、アンケート実施時に設置構想を説明し、認可後に大学ホームページ上で募集活動を行うことを周知している。現職者に対しては、アンケート協力者にはアンケートを通じ構想を伝え、申請後は理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科の実習施設をはじめとする医療機関に対し、設置構想を記載したリーフレッ

トを作成の上 PR 活動を行う予定である。設置認可後には、京阪神地区の医療系大学宛に、また本学理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科の卒業生に対してもメール、リーフレット、ホームページ等で周知し、学生確保に向けた取り組みを実施する。

広報・学生募集活動の大まかな予定は以下のとおりである。

令和5年4月初旬 ... 大学ホームページ上に、認可申請中として掲出

設置認可後... 募集要項をホームページに掲出するとともに、在学生、医療施設、医療系大学、卒業者等へ送付

以上のように、段階的に設置構想について周知を行い、かつ継続的に学生確保の取り組みを実施することにより、前述したアンケート調査結果で本研究科に進学してみたいと回答した者に適切に情報提供を行い学生確保ができる効果が見込まれる。

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

我が国では少子高齢化により、医療費、介護費などの社会保障関係費が増大している。令和3年10月の高齢化率は28.9%とされており、今後も高齢化率は上昇を続け、令和7年には30.0%、令和32年には37.7%になると予測されている。さらに、加齢が大きな要因の1つとされる認知症の罹患者も令和7年には約700万人、令和12年には830万人、令和30年には1000万人を超えると推計されている。

少子高齢化が世界的にも例をみない速さで進行している我が国において、ただ寿命を延ばすだけではなく、多くの人々が健康で快適な状態を保つ必要がある。このように健康寿命を延伸するためにも、「若い時から認知症予防を含めた健康づくりに励み、高齢期に入ってから、病気あるいは介護の必要な状態にならない」よう取り組む必要がある。そのためには、ケガや病気を「予防」するために、身体や認知機能の健康な状態を維持・向上する「健康増進」を勧めていくことが大切である。

本研究科では、学部教育との接続はもとより、健康科学分野で活躍する社会人を受け入れ、健康科学に関わる諸問題に対して、スポーツ科学、身体構造学、認知神経学等の観点から基礎的原理と真理を追究し、応用・実践を視野に入れた学際的理解を基軸とする新たな健康科学の創造・増進を追究できる能力を修得させる。また、医療専門職養成を基盤とする大学ならではの視点から、健康長寿の延伸に寄与するために、こころと身体健康増進の発展に寄与できる自律した行動能力を持った高度実践専門家や教育・研究者を養成したいと考える。

#### 1) 国および地域の課題解決に取り組む高度実践専門家の養成

国および地域の課題は時代とともに変化するが、その課題に対し科学的根拠を持って解決策を見出せる人材が必要である。本研究科は骨・神経・筋の解剖・生理学、運動学、栄

養学のみならず、スポーツ科学、認知神経・心理学等の観点から幅広い知識を持ち、健康増進に関わる基礎的原理と真理を追究する知識・技能・態度を身につけ、国および地域の課題解決に取り組む高度専門職業人の養成を行う。

健康寿命の延伸が課題となっている現在、若い時から認知症予防を含めた健康づくりに励み、高齢期に入ってから、病気あるいは介護の必要な状態にならないよう取り組む必要がある。そのためには、ケガや病気を「予防」するために、身体や認知機能の健康な状態を維持・向上する「健康増進」を勧めていく人材が必要である。

本研究科では、専門領域についての国際的かつ最先端の研究成果を学び、自ら研究活動に取り組む経験は、生涯にわたって課題解決に取り組める方法を身につけることができる。

## 2) 優れた教育能力と研究能力を有する教育・研究者の養成

近畿圏において予防や健康増進に着目した大学院はまだ少なく、これらの分野において専門的な知識や技術をもった人材の需要は大きいと考える。高度な教育研究を望む本学医療保健学部の卒業生をはじめ、他大学の卒業生を受け入れ、科学的根拠をもとにした教育を行う。また教育学を修めた教員より、「教育方法学特論」や「臨床教育学特論」により教育や実践の場において教育的な指導方法を学ぶことができる。これらを通して、健康科学領域における研究課題を探索し研究することで科学的根拠を探索し、新たな健康科学の創造・増進を追究できる能力を養い、さらに後継者を育てることによって、健康科学の学術的発展に寄与する教育・研究者を養成する。

## ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

①でも触れたとおり、健康寿命の延伸が課題となっている現在、若い時から認知症予防を含めた健康づくりに励み、高齢期に入ってから、病気あるいは介護の必要な状態にならないよう取り組む必要がある。そのためには、ケガや病気を「予防」するために、身体や認知機能の健康な状態を維持・向上する「健康増進」を勧めていく人材が必要である。

今回、社会的な人材需要に関する具体的な調査として、施設部門管理者（臨床実習施設 100 施設）に web によるアンケート調査を行い、31 施設より回答をいただいた。31 施設の管理者のうち 29 名の方が採用に関わっていた。今回の調査は、臨床実習施設に対して実施したため統計的なサンプルの確保という点で不足があるのは否めない。とはいえ管理者に対する、本学の健康科学研究科は「これからの社会でどの程度必要だと思われますか。」という質問に、14 名（45.2%）が「とても必要だと思う」、17 名（54.8%）が「ある程度必要だと思う」と回答していることは、大学院修了生の人材需要があるとみてよいと考えている。特に健康増進を学ぶ大学院の特色である「専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる」という質問に対しては、9 名（29.0%）の管理者から「とても魅力を感じる」、16 名（51.6%）から「ある程度魅力を感じる」との回答を得た。さらに、修了生の出口調査である

が、「藍野大学大学院「健康科学研究科」(仮称、設置構想中)で学んだ学生をあなたの勤務先・職場で採用したいと思いませんか。」と訊いた質問には、31名(100%)が「採用したいと思う」との回答があった。

サンプル数が少ない憾みはあるものの、以上より本学が構想する健康科学研究科の修了生に対する人材需要は充分あると見込んでいる。

以上

## 目次

資料 1	: 受療率	.....	p. 2
資料 2	: アンケート依頼および内容	.....	p. 5
資料 3	: アンケート調査結果	.....	p. 18
資料 4	: 大阪府人口	.....	p. 38
資料 5	: 滋賀県・京都府の人口	.....	p. 41

# 資料 1

## 2 受療率

全国の受療率（人口 10 万対）は、「入院」960、「外来」5,658 である。

### (1) 性・年齢階級別

性別にみると、入院では「男」910、「女」1,007、外来では「男」4,971、「女」6,308 となっており、年齢階級別にみると、入院では「65 歳以上」2,512、「70 歳以上」2,899、「75 歳以上」3,568、外来では「65 歳以上」10,044、「70 歳以上」10,665、「75 歳以上」11,166 となっている（表 4、統計表 4）。

表 4 性・年齢階級別にみた受療率（人口 10 万対）

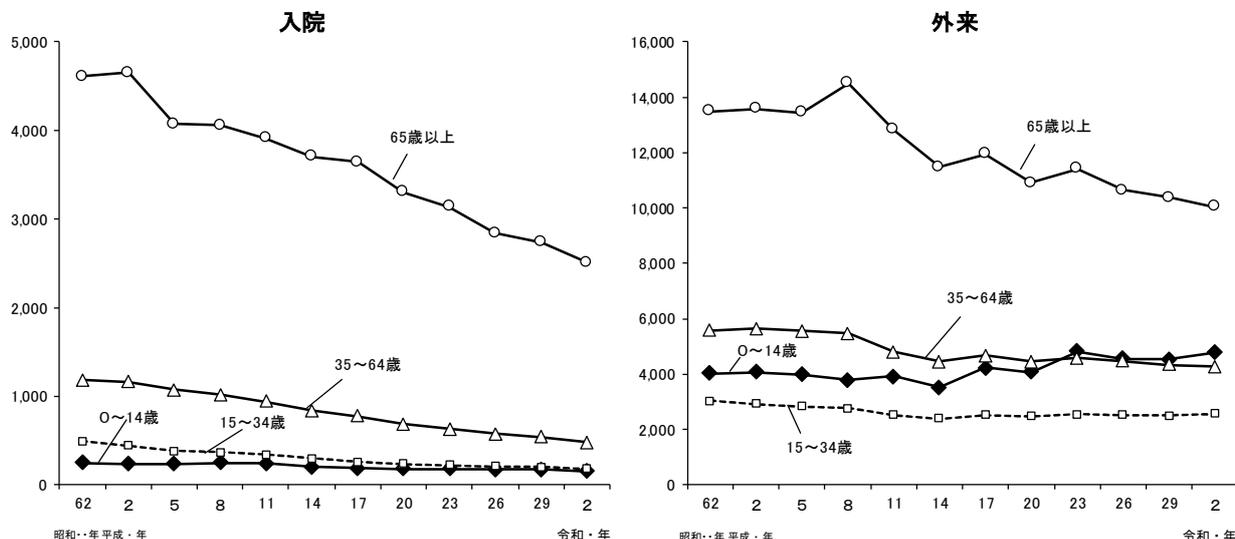
年齢階級	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	960	910	1 007	5 658	4 971	6 308
0 歳	1 065	1 155	971	7 296	7 403	7 185
1 ~ 4	134	153	115	6 327	6 540	6 103
5 ~ 9	71	79	64	4 816	5 078	4 540
10 ~ 14	99	106	92	3 313	3 300	3 328
15 ~ 19	123	121	126	2 178	1 993	2 372
20 ~ 24	141	128	156	2 321	1 782	2 885
25 ~ 29	198	142	258	2 692	1 867	3 563
30 ~ 34	246	165	331	3 043	2 149	3 977
35 ~ 39	257	215	301	3 174	2 300	4 074
40 ~ 44	273	278	267	3 480	2 760	4 220
45 ~ 49	345	387	302	3 745	3 063	4 444
50 ~ 54	478	551	404	4 285	3 602	4 977
55 ~ 59	664	776	551	5 113	4 368	5 856
60 ~ 64	895	1 064	730	6 113	5 509	6 702
65 ~ 69	1 207	1 444	983	7 951	7 369	8 500
70 ~ 74	1 544	1 797	1 318	9 649	9 165	10 083
75 ~ 79	2 204	2 461	1 997	11 527	11 132	11 843
80 ~ 84	3 234	3 440	3 088	11 847	12 077	11 685
85 ~ 89	4 634	4 795	4 546	10 728	11 308	10 411
90 歳以上	6 682	6 706	6 673	9 248	9 667	9 107
(再 掲)						
65 歳以上	2 512	2 518	2 507	10 044	9 718	10 295
70 歳以上	2 899	2 887	2 907	10 665	10 525	10 766
75 歳以上	3 568	3 534	3 590	11 166	11 332	11 059

令和 2 年 10 月

注：総数には、年齢不詳を含む。

年齢階級別にみると、入院、外来ともに「65 歳以上」が最も高くなっているが、年次推移では低下傾向となっている（図 5、統計表 4）。

図 5 年齢階級別にみた受療率（人口 10 万対）の年次推移



注：1) 平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。  
2) 数値は、統計表 4 参照。

## (2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院では、高い順に「V 精神及び行動の障害」188、「IX 循環器系の疾患」157、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」107となっている。外来では、「XI 消化器系の疾患」1,007、「XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」794、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」718となっている。(表5、統計表5)

表5 傷病分類別にみた受療率(人口10万対)

令和2年10月

傷病分類	入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	960	910	1 007	5 658	4 971	6 308
I 感染症及び寄生虫症	13	13	13	103	96	110
結核 (再掲)	2	2	1	1	1	1
ウイルス性肝炎 (再掲)	0	0	0	7	7	8
II 新生物<腫瘍>	100	115	87	196	178	212
悪性新生物<腫瘍> (再掲)	89	106	74	144	148	141
胃の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	8	11	5	13	17	9
結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	14	16	12	21	24	19
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	4	5	2	3	5	2
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	13	17	8	15	19	11
乳房の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	4	0	8	28	1	53
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4	4	5	14	8	20
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	24	21	26	343	312	373
糖尿病 (再掲)	12	12	12	170	199	143
脂質異常症 (再掲)	0	0	0	122	76	165
V 精神及び行動の障害	188	185	190	211	198	224
血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	20	17	23	11	6	15
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	113	112	114	40	42	38
気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	22	16	28	72	61	83
VI 神経系の疾患	100	88	111	131	115	147
アルツハイマー病 (再掲)	40	28	51	36	18	53
VII 眼及び付属器の疾患	8	7	9	237	192	279
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	1	2	76	68	83
IX 循環器系の疾患	157	151	163	652	609	693
高血圧性疾患 (再掲)	4	2	5	471	418	522
心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	46	44	48	103	112	94
脳血管疾患 (再掲)	98	94	101	59	61	57
X 呼吸器系の疾患	59	69	50	371	363	379
肺炎 (再掲)	19	21	17	3	4	3
慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	5	7	3	12	18	7
喘息 (再掲)	1	1	2	71	67	75
X I 消化器系の疾患	48	53	43	1 007	870	1 137
う蝕 (再掲)	0	0	0	231	208	252
歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0	0	0	401	319	478
肝疾患 (再掲)	5	6	4	20	22	18
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	9	9	10	247	225	268
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	59	46	71	718	556	872
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	41	40	41	241	232	250
慢性腎臓病 (再掲)	18	21	16	99	134	65
X V 妊娠、分娩及び産じょく	11	-	22	10	-	20
X VI 周産期に発生した病態	5	6	4	3	3	2
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	4	5	4	11	10	11
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10	8	12	59	48	69
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	107	80	132	229	233	225
骨折 (再掲)	77	45	108	77	62	91
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8	6	10	794	650	930
X X II 特殊目的用コード	2	3	2	3	4	3

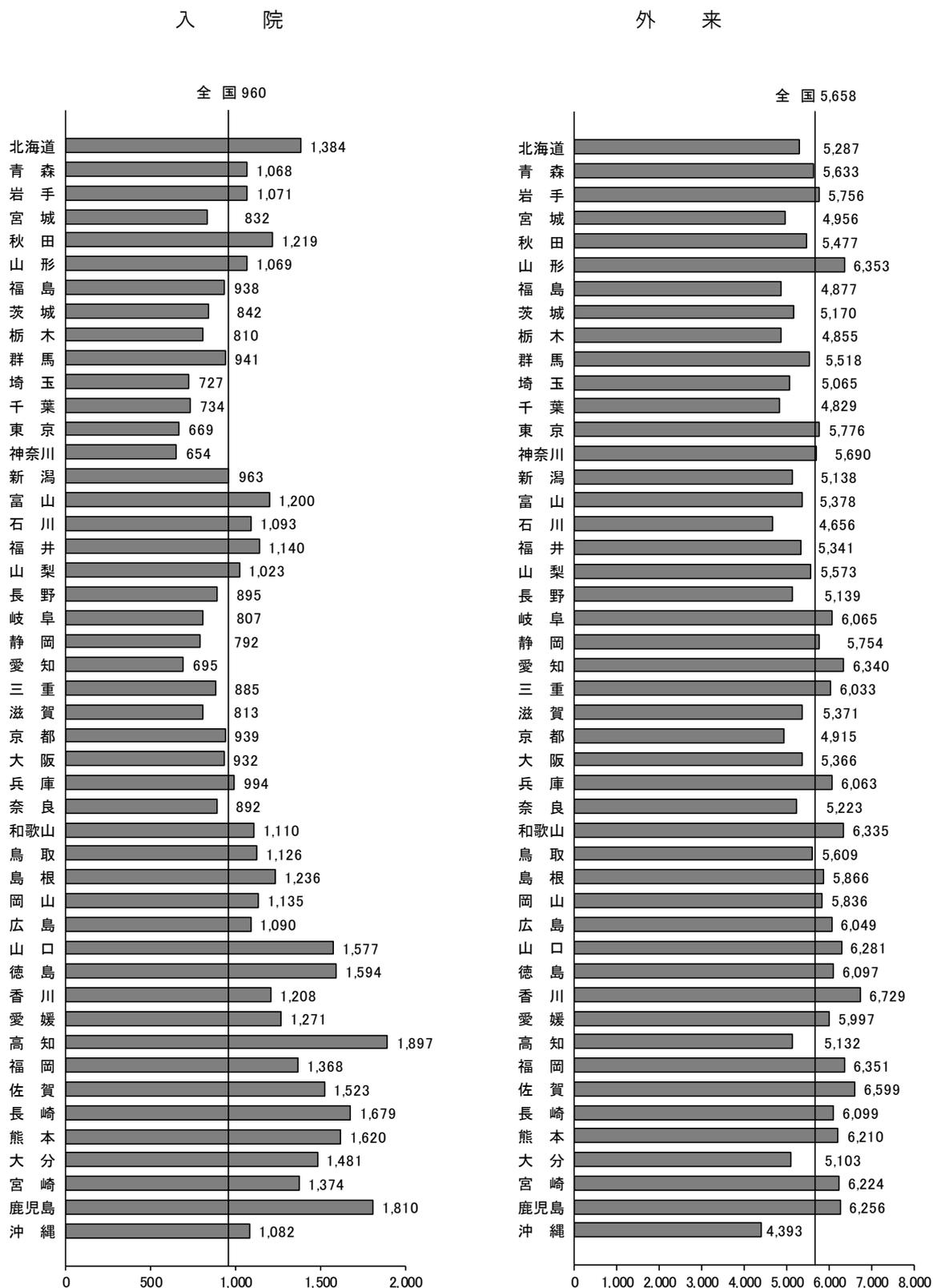
### (3) 都道府県別

都道府県(患者住所地)別にみると、入院では、「高知」が1,897と最も高く、次いで「鹿児島」1,810、「長崎」1,679となっている。また、「神奈川」が654と最も低く、次いで「東京」669、「愛知」695となっている。

外来では、「香川」が6,729と最も高く、次いで「佐賀」6,599、「山形」6,353となっている。また、「沖縄」が4,393と最も低く、次いで「石川」4,656、「千葉」4,829となっている。(図6)

図6 都道府県(患者住所地)別にみた受療率(人口10万対)

令和2年10月



設置構想中

# 藍野大学大学院 健康科学研究科 修士課程

## 開設予定について

**2024年4月からの開設を目指しています！**

## 専攻および領域について

**1専攻 2研究領域となっています！**

健康科学研究科健康科学専攻は、2つの研究領域（**認知健康科学領域・身体健康科学領域**）で構成されています。

## 2つの領域の内容は？

認知健康科学領域

### 認知科学と健康科学を融合させた実践的な学問

認知的な健康を維持・改善する要因の解明や運動や治療的介入方法を検証します。

身体健康科学領域

### 身体機能と健康増進をさまざまな角度から学ぶ学問

健康増進だけではなく呼吸・代謝障害, 生活習慣病に併存する運動器障害を有する者の運動処方を検討します。

認知及び身体機能の健康増進に関わる専門的で高度な知識及び技能を持ち, 専門職の発展に向けて創造的・科学的思考に基づき, 健康科学の発展に寄与できる自律した行動能力を持った高度実践専門家や教育・研究者を養成します。

## 大学院の特徴

- ・ **夜間開講やwebシステム利用**など, 働きながら学べる環境がある。
- ・ 藍野大学卒業生の場合, **学んだことのある教員から指導を受ける**ことができる。
- ・ 認知及び身体機能の**予防・健康増進に関わる研究**ができる。
- ・ 将来教育職に就くことを視野に**教育系の科目を4単位**設けている。  
(現在教育職に就く場合, 教育系科目の4単位以上の修得が義務)
- ・ 長期履修制度や授業料分担制度がある。



アンケート

ご施設管理者様の方へのアンケート依頼

設置構想中

# 藍野大学大学院 健康科学研究科 修士課程

開設時期について

**2024年4月からの開設を目指しています！**

専攻および領域について

**1専攻 2研究領域となっています！**

健康科学研究科健康科学専攻は、2つの研究領域（**認知健康科学領域・身体健康科学領域**）で構成されています。

2つの領域の内容は？

認知健康科学領域

**認知科学と健康科学を融合させた実践的な学問**

認知的な健康を維持・改善する要因の解明や運動や治療的介入方法を検証します。

身体健康科学領域

**身体機能と健康増進をさまざまな角度から学ぶ学問**

健康増進だけではなく呼吸・代謝障害, 生活習慣病に併存する運動器障害を有する者の運動処方を検討します。

認知及び身体機能の健康増進に関わる専門的で高度な知識及び技能を持ち, 専門職の発展に向けて創造的・科学的思考に基づき, 健康科学の発展に寄与できる自律した行動能力を持った高度実践専門家や教育・研究者を養成します。

大学院の特徴

- ・ **夜間開講やwebシステム利用**など, 働きながら学べる環境がある。
- ・ 藍野大学卒業生の場合, **学んだことのある教員から指導を受ける**ことができる。
- ・ 認知及び身体機能の**予防・健康増進に関わる研究**ができる。
- ・ 将来教育職に就くことを視野に**教育系の科目を4単位**設けている。  
(現在教育職に就く場合, 教育系科目の4単位以上の修得が義務)
- ・ 長期履修制度や授業料分担制度がある。



現職者の先生方へのアンケート依頼

設置構想中

# 藍野大学大学院 健康科学研究科 修士課程

開設時期について

**2024年4月からの開設を目指しています！**

専攻および領域について

**1専攻 2研究領域となっています！**

健康科学研究科健康科学専攻は、2つの研究領域（**認知健康科学領域・身体健康科学領域**）で構成されています。

2つの領域の内容は？

認知健康科学領域

**認知科学と健康科学を融合させた実践的な学問**

認知的な健康を維持・改善する要因の解明や運動や治療的介入方法を検証します。

身体健康科学領域

**身体機能と健康増進をさまざまな角度から学ぶ学問**

健康増進だけではなく呼吸・代謝障害, 生活習慣病に併存する運動器障害を有する者の運動処方を検討します。

認知及び身体機能の健康増進に関わる専門的で高度な知識及び技能を持ち, 専門職の発展に向けて創造的・科学的思考に基づき, 健康科学の発展に寄与できる自律した行動能力を持った高度実践専門家や教育・研究者を養成します。

大学院の特徴

- ・ **夜間開講やwebシステム利用**など, 働きながら学べる環境がある。
- ・ 藍野大学卒業生の場合, **学んだことのある教員から指導を受ける**ことができる。
- ・ 認知及び身体機能の**予防・健康増進に関わる研究**ができる。
- ・ 将来教育職に就くことを視野に**教育系の科目を4単位**設けている。  
(現在教育職に就く場合, 教育系科目の4単位以上の修得が義務)
- ・ 長期履修制度や授業料分担制度がある。



アンケート

# 資料2 アンケート内容

## 藍野大学大学院 健康科学研究科 設置構想 (在学生)

藍野大学では2024年4月に大学院「健康科学研究科」(仮称、設置構想中)の開設を計画しております。  
つきましては、現在、医療保健学部 理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科に所属している在学生の皆様へ調査させていただき、構想中の「健康科学研究科」(仮称)の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきたいと考えております。  
なお、この調査は無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束いたします。このアンケートを通じて皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

※このアンケートに記載されている内容はあくまで予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

\*必須

1. あなた自身について教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 1年  
 2年  
 3年  
 4年

2. 所属している学科を教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 理学療法学科  
 作業療法学科  
 臨床工学科

3. あなたは(将来的に)大学院(藍野大学大学院に限らず)に進学したいと思いますか。今の気持ちに近いものを選択してください。\*

1つだけマークしてください。

- 進学したい  
 機会があれば進学したい  
 進学は考えていない

4. ※進学希望にかかわらず全員お答えください\*

あなたは下記内容(藍野大学大学院の特徴)についてどの程度魅力を感じますか。  
長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講やwebシステム利用など、働きながら学べる環境が整えられている

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない

5. ※進学希望にかかわらず全員お答えください\*

あなたは下記内容(藍野大学大学院の特徴)についてどの程度魅力を感じますか。  
今まで教わったことのある教員(知っている教員)から指導を受けることができる

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない

6. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*  
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。  
藍野大学を卒業後2年以内に進学すると入学金が免除される  
1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない
7. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*  
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。  
健康科学専攻は2研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。  
1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない
8. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*  
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。  
専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。  
1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない
9. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*  
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。  
将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。  
1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない
10. あなたは、上述のような特色を持つ藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）に進学してみたいと思いますか。 \*  
1つだけマークしてください。
- 進学してみたいと思う  
 機会があれば進学したいと思う  
 進学したいとは思わない
11. あなたが、もし藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）を受験し合格したら、進学したいと思いますか。 \*  
1つだけマークしてください。
- 進学したいと思う  
 進学したいとは思わない

12. 藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）について、もっと知りたいことやご意見・ご要望など、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

## 藍野大学大学院 健康科学研究科 設置構想 (現職者)

藍野大学では2024年4月に大学院「健康科学研究科」(仮称、設置構想中)の開設を計画しております。つきましては、現在、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士として働かれておられる皆様へ調査させていただき、構想中の「健康科学研究科」(仮称)の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきたいと考えております。なお、この調査は無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束いたします。このアンケートを通じて皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

※このアンケートに記載されている内容はあくまで予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

\*必須

1. あなた自身について教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 理学療法士  
 作業療法士  
 言語聴覚士  
 臨床工学技士

2. 経験年数を教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 3年未満  
 3年以上5年未満  
 5年以上10年未満  
 10年以上

3. 現時点で修得されておられる学位(最終学位)を教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 専門士  
 高度専門士  
 学士  
 準学士  
 修士  
 博士

4. あなたは(将来的に)大学院(藍野大学大学院に限らず)に進学したいと思いますか。今の気持ちに近いものを選択してください。\*

1つだけマークしてください。

- 進学したい  
 機会があれば進学したい  
 進学は考えていない

5. ※進学希望にかかわらず全員お答えください\*

あなたは下記内容(藍野大学大学院の特徴)についてどの程度魅力を感じますか。

長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講やwebシステム利用など、働きながら学べる環境が整えられている

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる  
 ある程度魅力を感じる  
 あまり魅力を感じない  
 全く魅力を感じない

6. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*
- あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。
- 健康科学専攻は2研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。
- 1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない
7. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*
- あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。
- 専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。
- 1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない
8. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*
- あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。
- 将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。
- 1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない
9. あなたは、上述のような特色を持つ藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）に進学してみたいと思いますか。 \*
- 1つだけマークしてください。
- 進学してみたいと思う
- 機会があれば進学したいと思う
- 進学したいとは思わない
10. あなたが、もし藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）を受験し合格したら、進学したいと思いますか。 \*
- 1つだけマークしてください。
- 進学したいと思う
- 進学したいとは思わない
11. 藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）について、もっと知りたいことやご意見・ご要望など、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。
- 
- 
- 
- 
-

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

## Google フォーム

# 藍野大学大学院 健康科学研究科 設置構想(管理者)

藍野大学では2024年4月に大学院「健康科学研究科」(仮称、設置構想中)の開設を計画しております。つきましては、現在、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を管理されておられます皆様へ調査させていただき、構想中の「健康科学研究科」(仮称)の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきますと考えております。なお、この調査は無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束いたします。このアンケートを通じて皆様の忌憚のないご意見をお聞かせくださいますよう、よろしくお願いいたします。

※このアンケートに記載されている内容はあくまで予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

\*必須

## 1. あなた自身について教えてください(年齢) \*

1つだけマークしてください。

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

## 2. あなたご自身について教えてください(役職) \*

1つだけマークしてください。

- 人事・総務
- 技師長・科長
- 係長・主任
- その他

## 3. あなたの人事採用の関与度を教えてください \*

1つだけマークしてください。

- 採用の決裁権があり、採用に関わっている
- 採用の決裁権はあるが、選考には関わっていない
- 採用の決裁権はないが、選考に関わっている
- 採用時には直接関わらず、情報や意見を収集、提供する立場にある
- 採用には関わっていない

## 4. 貴施設で勤務されておられるセラピストの総人数を教えてください \*

1つだけマークしてください。

- 10名未満
- 10名以上20名未満
- 20名以上30名未満
- 30名以上40名未満
- 40名以上50名未満
- 50名以上

5. 貴施設で勤務されておられるセラピストの中で、「修士」の学位取得者の人数を教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 0名
- 1名
- 2名
- 3名
- 4名
- 5名
- 6名
- 7名
- 8名
- 9名
- 10名以上

6. 貴施設で勤務されておられるセラピストの中で、「博士」の学位取得者の人数を教えてください\*

1つだけマークしてください。

- 0名
- 1名
- 2名
- 3名
- 4名
- 5名以上

7. ※進学希望にかかわらず全員お答えください\*

あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。

長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講やwebシステム利用など、働きながら学べる環境が整えられている

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない

8. ※進学希望にかかわらず全員お答えください\*

あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。

健康科学専攻は2研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。

1つだけマークしてください。

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない

9. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*
- あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。
- 専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。
- 1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない
10. ※進学希望にかかわらず全員お答えください \*
- あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。
- 将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。
- 1つだけマークしてください。
- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- 全く魅力を感じない
11. あなたは、このような特色を持つ藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）は、これからの社会でどの程度必要だと思いますか。 \*
- 1つだけマークしてください。
- とても必要だと思う
- ある程度必要だと思う
- あまり必要だと思わない
- まったく必要だと思わない
12. あなたが、藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）で学んだ学生をあなたの勤務先・職場で採用したいと思いませんか。 \*
- 1つだけマークしてください。
- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない

13. あなたは、藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）について、貴施設で働くセラピストの方に、進学を勧めたいと思いますか

1つだけマークしてください。

- 勧めたいと思う  
 勧めたいと思わない

14. 藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）について、もっと知りたいことやご意見・ご要望など、どのようなことでも構いませんので、ご自由にお書きください。

---

---

---

---

---

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

藍野大学大学院「健康科学研究科」(仮称)設置  
に関するニーズ調査  
結果報告書

令和 4 年 12 月

## 調査概要

### 1. 調査目的

2024年4月開設予定の「藍野大学大学院 健康科学研究科」新設置構想に関して、在学生、現職者、病院・施設の採用担当者のニーズを把握する。

### 2. 調査概要

		入口		出口
		在校生対象調査	現職者対象調査	病院・施設採用担当者対象調査
調査対象		藍野大学医療保健学部理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科に所属する在校生（3・4年生）	藍野大学卒業生ならびにその施設と同僚	藍野大学の臨床実習施設、採用担当者
調査エリア		—	大阪・京都・滋賀・京都・奈良	
調査方法		webアンケート（無記名）		
調査対象数	依頼数	363	413	100
	有効回答数	274(75.5%)	135(32.7%)	31(31%)
調査期間		2022年12月12日～12月20日	2022年12月12日～12月21日	2022年12月13日～12月28日
調査実施メンバー		藍野大学大学院設置準備室		

### 3. 調査項目

入口		出口
在校生対象調査	現職者対象調査	病院・施設採用担当者対象調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性</li> <li>・大学院進学希望</li> <li>・研究科の特色に対する魅力度</li> <li>・研究科への受験意向</li> <li>・研究科への進学意向</li> <li>・他の意見（自由記載）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性</li> <li>・実務経験年数</li> <li>・学位の取得について</li> <li>・大学院進学希望</li> <li>・研究科の特色に対する魅力度</li> <li>・研究科への受験意向</li> <li>・研究科への進学意向</li> <li>・他の意見（自由記載）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性</li> <li>・実務経験年数</li> <li>・人事採用の関与度</li> <li>・学位の取得について</li> <li>・研究科の特色に対する魅力度</li> <li>・研究科の社会的必要性</li> <li>・研究科修了生の採用意向</li> <li>・研究科への入学推奨度</li> <li>・他の意見（自由記載）</li> </ul>

## 調査結果まとめ

## 在学生対象調査 調査結果まとめ

### 回答者の属性

- 本調査の回答者は 274 名
- 4 年生 139 名、3 年生 135 名
- 理学療法学科 181 名、作業療法学科 71 名、臨床工学科 22 名

### 大学院への進学に対する意識

- 「進学したい」と回答した人は 8.4% (23 名)、また「機会があれば進学したい」と回答した人は 37.6% (103 名) であり、合計 46% (126 名) の人が大学院への進学を考えている。

### 健康科学研究科について

- 健康科学研究科の特徴に対する魅力度 (※) は、全ての特徴で 8 割を超える。そのうち、最も魅力度が高いのが、「藍野大学を卒業後 2 年以内に進学すると入学金が免除される」で 86.1% (236 名)、次いで「今まで教わったことのある教員 (知っている教員) から指導を受けることができる」で 85.4% (234 名) であり、本研究科は内部進学も想定しているため、教員との関係性が良好であると言える。また、「健康科学専攻は 2 研究領域 (認知健康科学領域・身体健康科学領域) で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。」ことや「長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講や web システム利用など、働きながら学べる環境が整えられている。」が 83.2% (228 名) であり、研究科の内容や学習方法なども魅力に感じている様子である。

(※) 魅力度 = 「とても魅力を感じる」 + 「ある程度魅力を感じる」と回答した割合

### 健康科学研究科への進学意向

- 藍野大学大学院健康科学研究科を「進学してみたいと思う」と回答した人は、全体の 12.4% (34 名)、「機会があれば進学したいと思う」と回答した人は全体の 52.6% (144 名) であり、入学定員を上回る進学意向者数がみられた。

## 現職者対象調査 調査結果まとめ

### 回答者の属性

- 本調査の回答者は 135 名
- 回答者の経験年数は、10 年以上が 31.1% (42 名) であり、3 年未満も 31.1% (42 名) であった。次いで、3 年以上 5 年未満が 21.5% (29 名)、5 年以上 10 年未満が 16.3% (22 名) であった。
- 理学療法士が 63% (85 名)、作業療法士が 33.3% (45 名)、言語聴覚士が 3.7% (5 名) であった。
- 最終学歴については、学士取得者が 55.6% (75 名)、専門士が 32.6% (44 名)、修士が 6.7% (9 名)、高度専門士が 4.4% (6 名)、準学士が 0.7% (1 名) であった。

### 大学院への進学に対する意識

- 「進学したい」と回答した人は 13.3% (18 名)、また「機会があれば進学したい」と回答した人は 38.5% (52 名) であり、合計 51.8% (70 名) の人が大学院への進学を考えている。

### 健康科学研究科について

- 健康科学研究科の特徴に対する魅力度 (※) は、全ての特徴で 8 割を超える。そのうち、最も魅力度が高いのが、「長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講や web システム利用など、働きながら学べる環境が整えられている。」で 91.1% (123 名)、次いで「将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。」で 86.7% (117 名) であった。現職者は働きながら通える環境を求めており、また新人教育などの教育方法についても興味があることが分かった。

また、「健康科学専攻は 2 研究領域 (認知健康科学領域・身体健康科学領域) で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。」ことの魅力度は 85.9% (116 名) であり、「専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことが

できる。」が83.0%（112名）であったことから、本研究科の内容において魅力的に感じていただけているものとする。

(※) 魅力度＝「とても魅力を感じる」＋「ある程度魅力を感じる」と回答した割合

### 健康科学研究科への進学意向

- 藍野大学大学院健康科学研究科を「進学してみたいと思う」と回答した人は、全体の10.4%（14名）、「機会があれば進学したいと思う」と回答した人は全体の57.0%（77名）であり、入学定員を上回る進学意向者数がみられた。

## 病院・施設採用担当者対象調査 調査結果まとめ

### 回答者の属性

- 本調査の回答者は 31 名
- 回答者の年齢は、40 代が 48.4%（15 名）と最も多く、30 代が 38.7%（12 名）、50 代が 9.7%（3 名）、60 代が 3.2%（1 名）であった。
- 役職は、技師長・科長が 48.4%（15 名）、係長・主任が 38.7%（12 名）、その他が 12.9%（4 名）であった。

### 勤務先の採用状況について

- 回答者のうち、「採用に関わっていない」と回答した人は 6.5%（2 名）のみで、ほとんどの回答者が何らかの形で人事採用に関与している様子。
- 勤務先のセラピスト数は、10 名未満が 29%と最も多く、ついで 50 名以上が 22.6%、20 名以上 30 名未満が 19.4%となっていた。
- 勤務先での修士の取得者は、0 名が 51.6%と多く、1 名が 19.4%と続いていた。
- 勤務先での博士の取得者は、0 名が 83.9%、1 名が 16.1%であった。

### 健康科学研究科について

- 健康科学研究科の特徴に対する魅力度（※）は、全ての特徴で 8 割を超える。そのうち、最も魅力度が高いのが、「将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。」で 96.8%（30 名）、次いで「長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講や web システム利用など、働きながら学べる環境が整えられている。」で 93.5%（29 名）であった。現職者と同様に、働きながら通える環境を求めており、また新人教育などの教育方法についても興味があることが分かった。

また、「健康科学専攻は 2 研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。」ことの魅力度は 90.4%（28 名）であり、「専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。」が 80.6%（25 名）であったことから、本研究科の内容において魅力的

に感じていただけているものとする。

(※) 魅力度 = 「とても魅力を感じる」 + 「ある程度魅力を感じる」と回答した割合

### 健康科学研究科の社会的必要性

- 「とても必要だと思う」が 45.2% (14 名) であり、「ある程度必要だと思う」が 54.8% (17 名) となっており、「あまり必要だと思わない」や「まったく必要だと思わない」は 0% (0 名) であった。

### 健康科学研究科修了生の採用意向

- 健康科学研究科修了生の採用意向は 100% (31 名) であった。

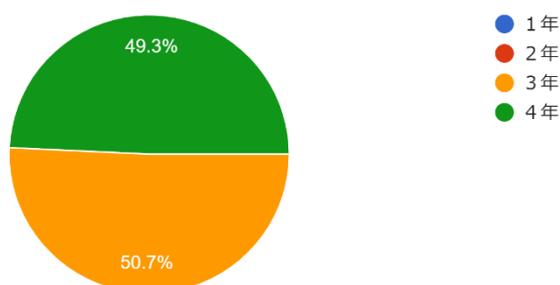
### 健康科学研究科への入学推奨度

- 貴施設で働くセラピストの方に、進学を勧めたいと思いますかという質問に対し、「薦めたいと思う」と回答した人は、全体の 63.3% (19 名) であった。

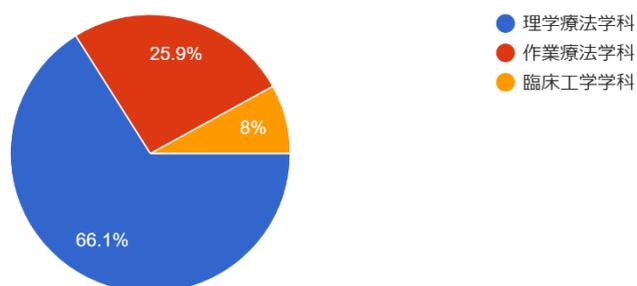
## 在学生対象調査（詳細結果）（n=274）

### 属性

あなた自身について教えてください

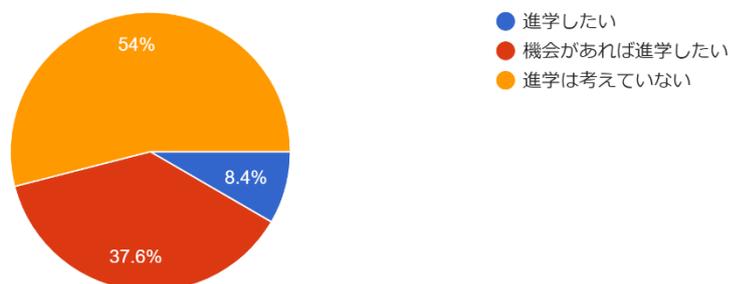


所属している学科を教えてください



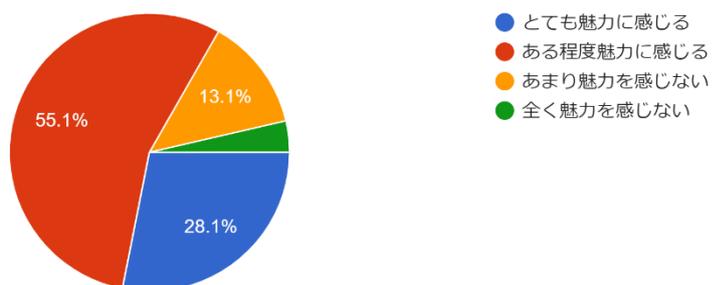
### 大学院進学希望

あなたは（将来的に）大学院（藍野大学大学院に限らず）に進学したいと思いますか。今の気持ちに近いものを選択してください。

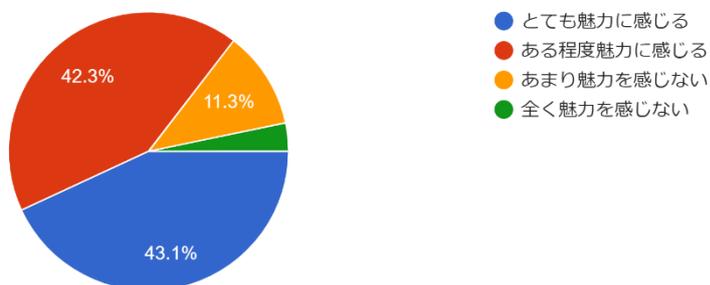


## 健康科学研究科 魅力度調査

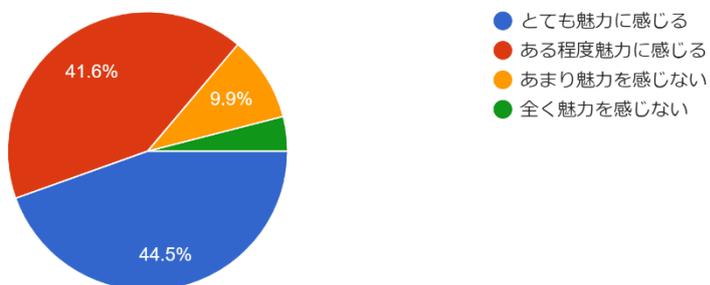
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。  
長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講やwebシステム利用など、働きながら学べる環境が整えられている



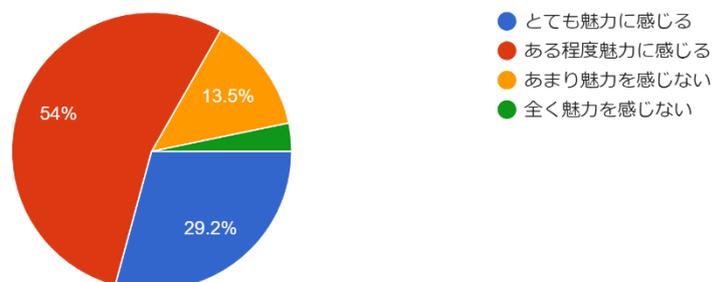
今まで教わったことのある教員（知っている教員）から指導を受けることができる



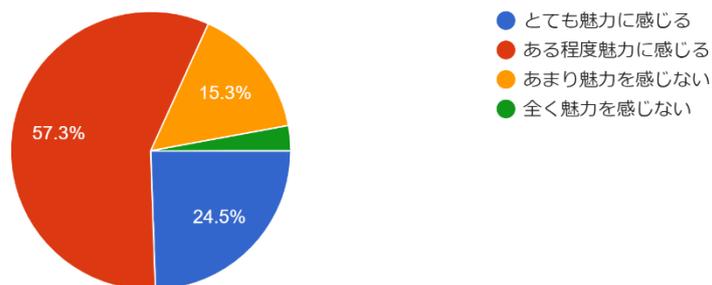
藍野大学を卒業後2年以内に進学すると入学金が免除される



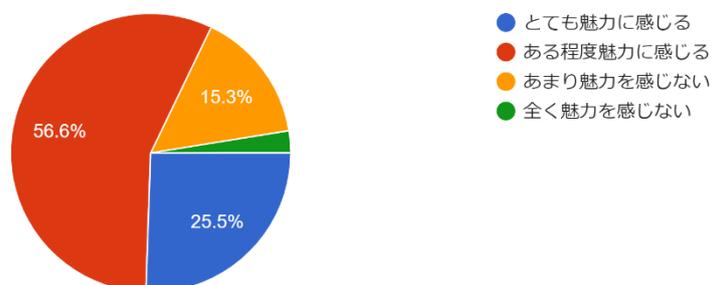
健康科学専攻は2研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。



専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。

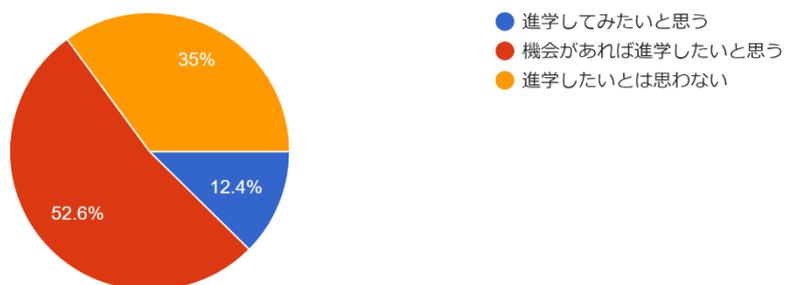


将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。



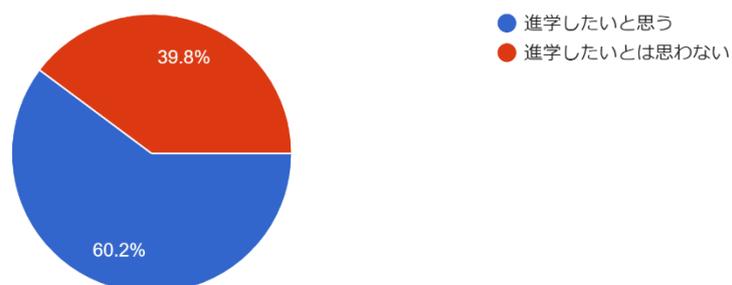
## 健康科学研究科への受験意向

あなたは、上述のような特色を持つ藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）に進学してみたいと思いますか。



## 健康科学研究科への進学意向

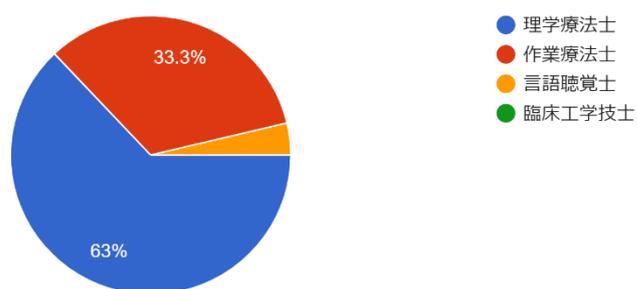
あなたが、もし藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）を受験し合格したら、進学したいと思いますか。



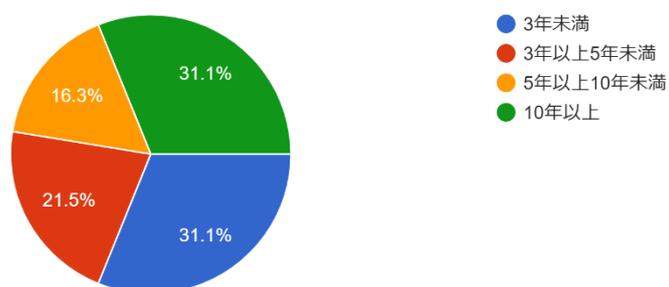
## 現職者対象調査（詳細結果）（n=135）

### 属性

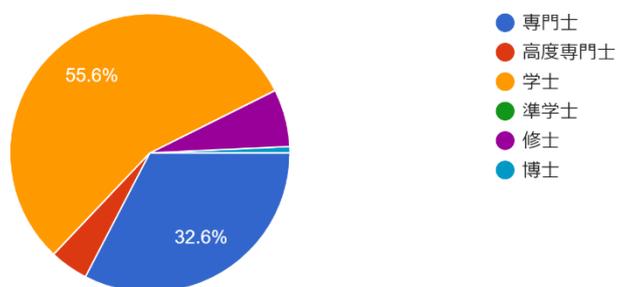
あなた自身について教えてください



経験年数を教えてください

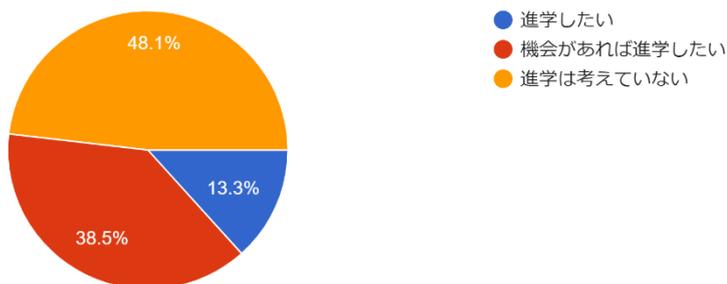


現時点で修得されておられる学位（最終学位）を教えてください



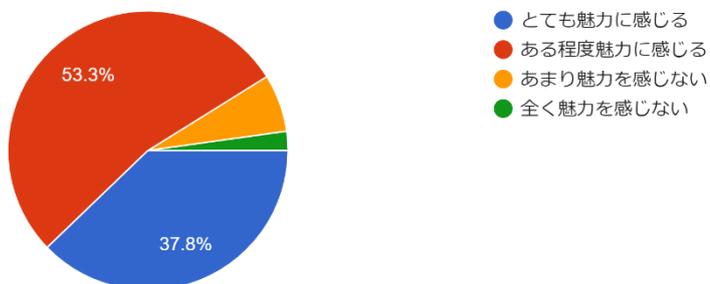
## 大学院進学希望調査

あなたは（将来的に）大学院（藍野大学大学院に限らず）に進学したいと思いますか。今の気持ちに近いものを選択してください。

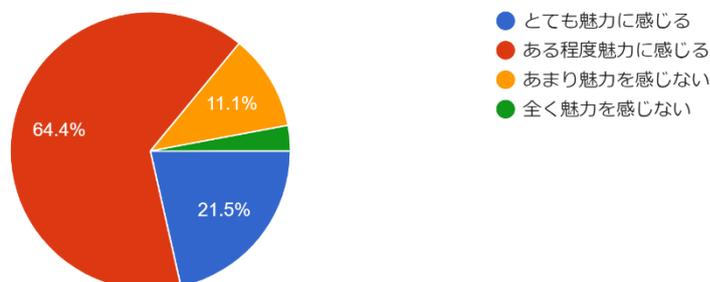


## 健康科学研究科 魅力度調査

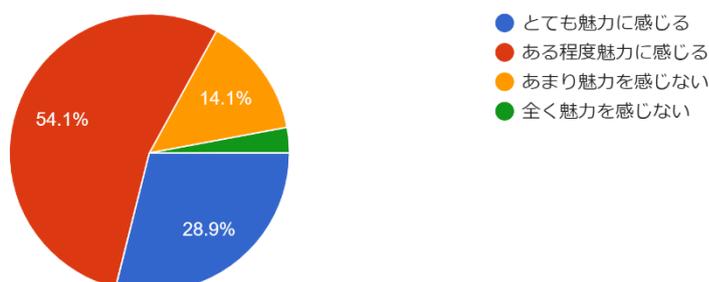
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講やwebシステム利用など、働きながら学べる環境が整えられている



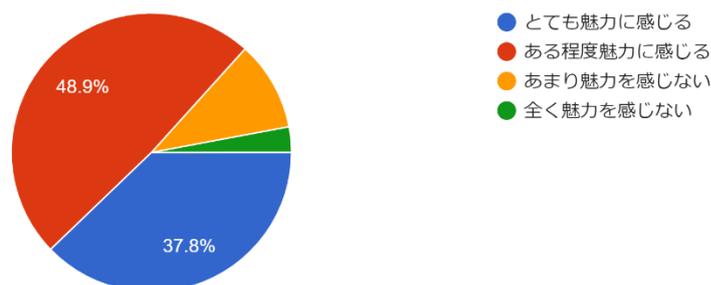
健康科学専攻は2研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。



専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。

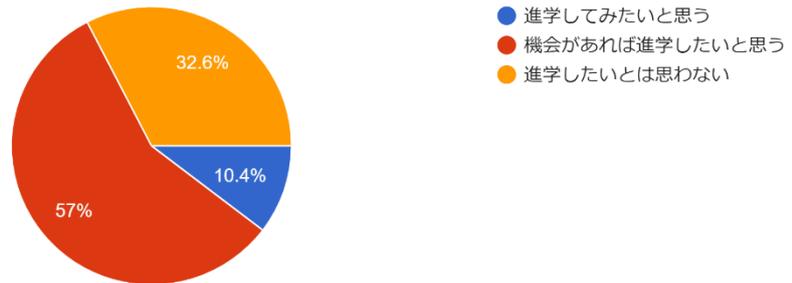


将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。



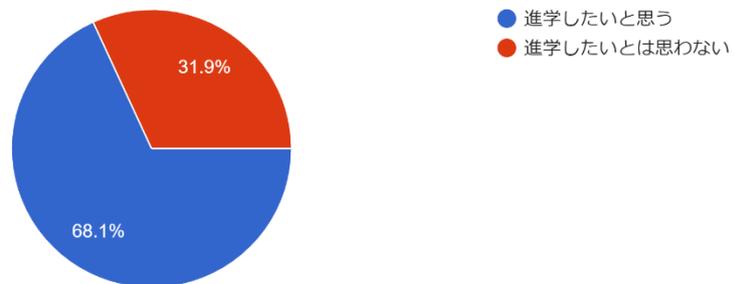
## 健康科学研究科への受験意向

あなたは、上述のような特色を持つ藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）に進学してみたいと思いますか。



## 健康科学研究科への進学意向

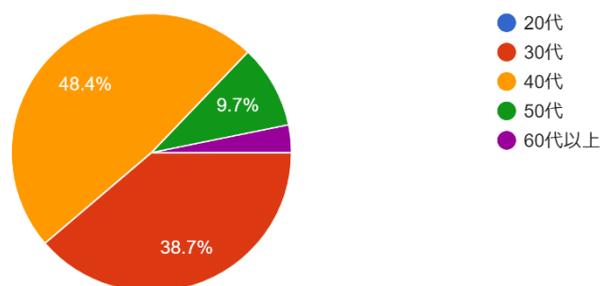
あなたが、もし藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）を受験し合格したら、進学したいと思いますか。



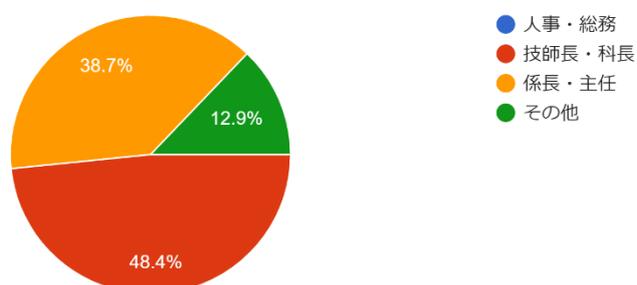
## 病院・施設採用担当者対象調査（詳細結果）（n=31）

### 属性

あなた自身について教えてください（年齢）



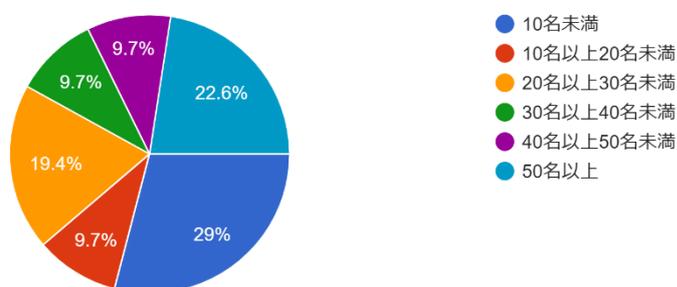
あなたご自身について教えてください（役職）



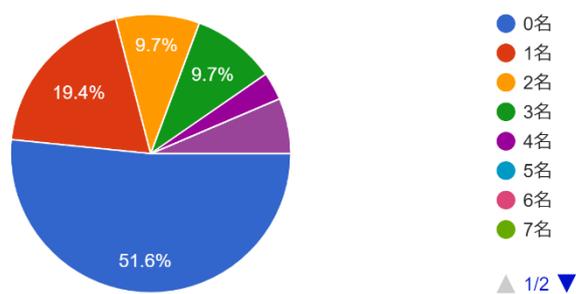
あなたの人事採用の関与度を教えてください



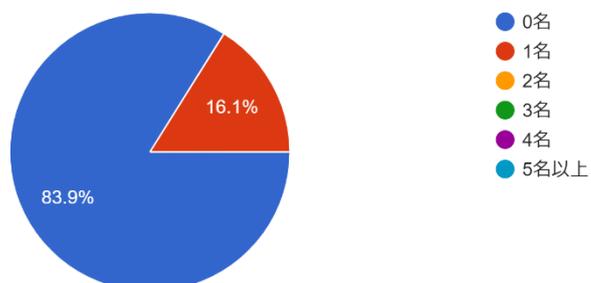
貴施設で勤務されておられるセラピストの総人数を教えてください



貴施設で勤務されておられるセラピストの中で、「修士」の学位取得者の人数を教えてください

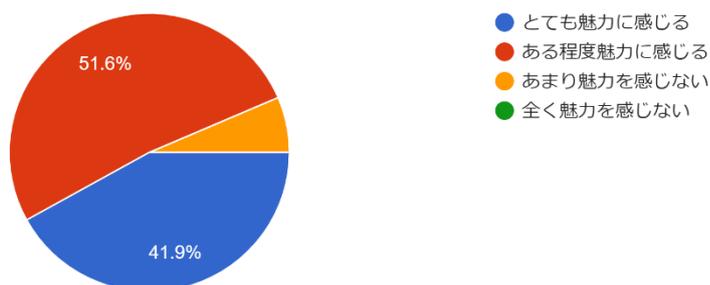


貴施設で勤務されておられるセラピストの中で、「博士」の学位取得者の人数を教えてください

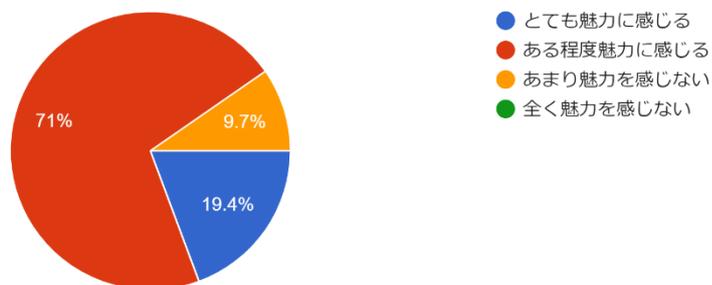


## 健康科学研究科 魅力度調査

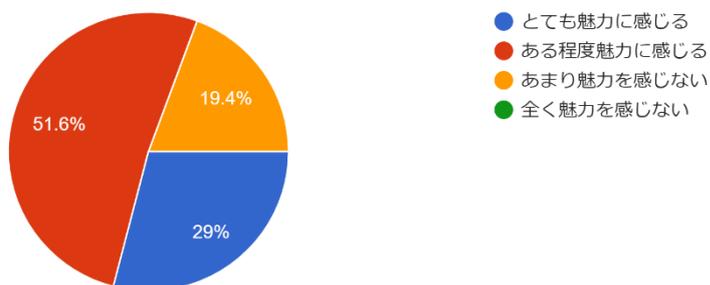
あなたは下記内容（藍野大学大学院の特徴）についてどの程度魅力を感じますか。  
長期履修制度や授業料分納制度、さらには夜間開講やwebシステム利用など、働きながら学べる環境が整えられている



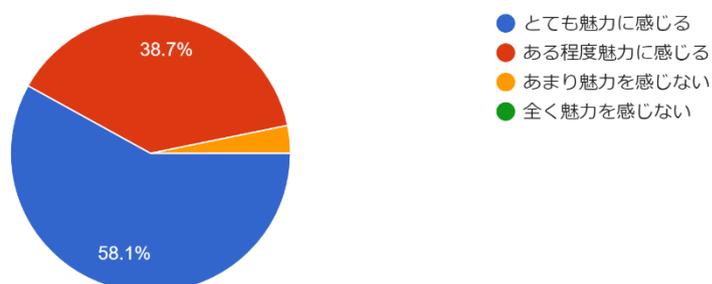
健康科学専攻は2研究領域（認知健康科学領域・身体健康科学領域）で構成し、健康づくりに関し、社会的要請に合致した最新・最良の知識・技能を有し、深い教養と主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力を身に付けることができる。



専門分野の高度な知識とともに、共通科目として「ヘルスプロモーション特論」「保健医療福祉システム特論」を設け、疾病予防・健康増進における知識を学ぶことができる。

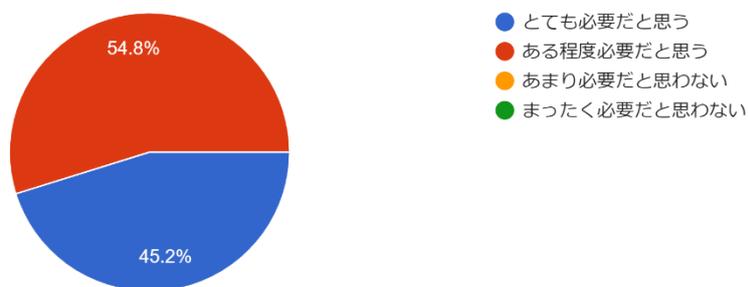


将来、大学・養成校における教育職に就くこと並びに組織リーダーとして新人教育に携わることを視野に「教育方法学特論」「臨床教育学特論」の科目を設けている。



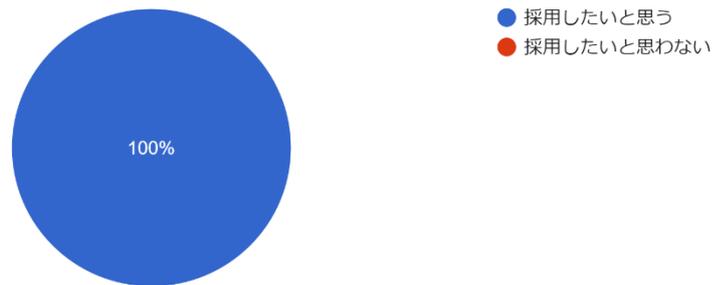
## 健康科学研究科 社会的必要性

あなたは、このような特色を持つ藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）は、これからの社会でどの程度必要だと思いますか。



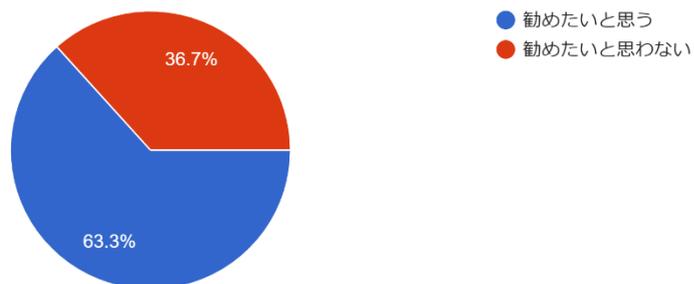
## 健康科学研究科修了生の採用意向

あなたが、藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）で学んだ学生をあなたの勤務先・職場で採用したいと思いますか。



## 健康科学研究科への入学推奨度

あなたは、藍野大学大学院「健康科学研究科」（仮称、設置構想中）について、貴施設で働くセラピストの方に、進学を勧めたいと思いますか



# 資料 4

## 大阪府の人口

都道府県名	市区町村名	男	女	計	世帯
大阪府		4,225,618	4,556,211	8,781,829	4,422,100
大阪府	大阪市	1,321,051	1,408,626	2,729,677	1,543,192
大阪府	大阪市 都島区	50,280	54,786	105,066	58,272
大阪府	大阪市 福島区	37,271	41,246	78,517	43,881
大阪府	大阪市 此花区	32,005	33,338	65,343	34,901
大阪府	大阪市 西区	48,986	55,362	104,348	63,741
大阪府	大阪市 港区	38,755	40,486	79,241	44,232
大阪府	大阪市 大正区	30,970	31,991	62,961	33,690
大阪府	大阪市 天王寺区	37,230	43,472	80,702	42,433
大阪府	大阪市 浪速区	36,551	35,188	71,739	52,738
大阪府	大阪市 西淀川区	47,840	49,216	97,056	51,322
大阪府	大阪市 東淀川区	84,396	86,439	170,835	101,107
大阪府	大阪市 東成区	39,797	44,447	84,244	48,305
大阪府	大阪市 生野区	60,376	64,784	125,160	72,021
大阪府	大阪市 旭区	42,823	46,674	89,497	48,882
大阪府	大阪市 城東区	80,858	89,018	169,876	88,574
大阪府	大阪市 阿倍野区	51,377	59,641	111,018	56,111
大阪府	大阪市 住吉区	70,900	80,577	151,477	81,458
大阪府	大阪市 東住吉区	62,333	68,604	130,937	70,060
大阪府	大阪市 西成区	60,447	43,887	104,334	72,167
大阪府	大阪市 淀川区	89,673	90,795	180,468	107,185
大阪府	大阪市 鶴見区	53,462	58,946	112,408	52,514
大阪府	大阪市 住之江区	57,181	61,379	118,560	63,619
大阪府	大阪市 平野区	90,818	100,297	191,115	99,527
大阪府	大阪市 北区	65,668	69,730	135,398	84,770
大阪府	大阪市 中央区	51,054	58,323	109,377	71,682
大阪府	堺市	394,406	429,228	823,634	397,526
大阪府	堺市 堺区	71,641	74,508	146,149	78,582
大阪府	堺市 中区	58,581	62,286	120,867	56,225
大阪府	堺市 東区	41,023	45,032	86,055	40,091
大阪府	堺市 西区	65,832	70,768	136,600	64,375
大阪府	堺市 南区	64,130	73,773	137,903	64,952
大阪府	堺市 北区	74,813	83,433	158,246	76,149
大阪府	堺市 美原区	18,386	19,428	37,814	17,152
大阪府	岸和田市	91,208	98,940	190,148	88,727
大阪府	豊中市	193,665	214,202	407,867	195,697
大阪府	池田市	49,390	53,946	103,336	49,469
大阪府	吹田市	180,887	197,894	378,781	179,397
大阪府	泉大津市	35,085	38,381	73,466	34,938
大阪府	高槻市	166,625	182,484	349,109	163,157
大阪府	貝塚市	40,324	43,253	83,577	37,820
大阪府	守口市	69,023	73,256	142,279	73,349
大阪府	枚方市	189,701	206,572	396,273	183,115
大阪府	茨木市	136,895	146,783	283,678	130,141
大阪府	八尾市	125,368	137,507	262,875	126,596
大阪府	泉佐野市	47,356	51,251	98,607	47,771
大阪府	富田林市	51,146	57,368	108,514	51,684
大阪府	寝屋川市	110,254	118,263	228,517	111,719
大阪府	河内長野市	47,693	53,583	101,276	47,503
大阪府	松原市	56,443	60,870	117,313	57,392
大阪府	大東市	57,455	60,436	117,891	57,417
大阪府	和泉市	88,918	95,267	184,185	80,900
大阪府	箕面市	66,276	72,378	138,654	62,284
大阪府	柏原市	32,364	35,031	67,395	31,971
大阪府	羽曳野市	51,943	57,434	109,377	51,094
大阪府	門真市	58,358	60,384	118,742	63,099
大阪府	摂津市	42,739	43,741	86,480	42,225
大阪府	高石市	27,161	29,960	57,121	26,127
大阪府	藤井寺市	30,126	33,282	63,408	29,604

大阪市  
の人口

北摂地  
域 7 市  
の人口

都道府県名	市区町村名	男	女	計	世帯
大阪府	東大阪市	234,045	247,275	481,320	244,129
大阪府	泉南市	28,953	31,048	60,001	26,384
大阪府	四條畷市	26,710	28,094	54,804	24,717
大阪府	交野市	37,294	40,129	77,423	33,549
大阪府	大阪狭山市	27,448	30,905	58,353	26,132
大阪府	阪南市	24,745	27,198	51,943	24,071
大阪府	三島郡	15,071	16,750	31,821	13,985
大阪府	三島郡 島本町	15,071	16,750	31,821	13,985
大阪府	豊能郡	13,488	14,636	28,124	13,245
大阪府	豊能郡 豊能町	8,943	9,792	18,735	8,695
大阪府	豊能郡 能勢町	4,545	4,844	9,389	4,550
大阪府	泉北郡	8,066	8,631	16,697	7,842
大阪府	泉北郡 忠岡町	8,066	8,631	16,697	7,842
大阪府	泉南郡	31,843	34,297	66,140	29,621
大阪府	泉南郡 熊取町	20,825	22,193	43,018	18,408
大阪府	泉南郡 田尻町	4,015	4,227	8,242	3,816
大阪府	泉南郡 岬町	7,003	7,877	14,880	7,397
大阪府	南河内郡	16,095	16,928	33,023	14,511
大阪府	南河内郡 太子町	6,374	6,625	12,999	5,582
大阪府	南河内郡 河南町	7,372	7,704	15,076	6,657
大阪府	南河内郡 千早赤阪村	2,349	2,599	4,948	2,272

# 資料5

## 滋賀県の人口と世帯数 (令和4年12月1日現在)

滋賀県総合企画部統計課

市町名	人			口			前月人口との増減			世帯数	前月世帯数との増減
	総数	男	女	うち外国人			総数	男	女		
				総数	男	女					
総数	1,409,391	695,210	714,181	32,280	17,175	15,105	5	38	-33	600,530	233
市部	1,336,157	658,610	677,547	30,272	16,042	14,230	15	34	-19	571,334	204
郡部	73,234	36,600	36,634	2,008	1,133	875	-10	4	-14	29,196	29
大津市	345,748	166,776	178,972	4,460	2,242	2,218	70	72	-2	154,999	69
彦根市	112,761	56,178	56,583	2,668	1,315	1,353	-23	-23	0	50,998	1
長浜市	111,697	54,400	57,297	3,429	1,638	1,791	-109	-59	-50	44,665	-10
近江八幡市	80,952	39,595	41,357	1,709	938	771	18	13	5	32,879	33
草津市	146,463	73,853	72,610	2,718	1,564	1,154	166	80	86	69,773	76
守山市	84,719	41,437	43,282	1,024	413	611	26	19	7	33,293	38
栗東市	69,069	34,203	34,866	1,325	688	637	78	41	37	27,081	17
甲賀市	87,267	43,536	43,731	3,694	2,069	1,625	-71	-43	-28	35,343	-45
野洲市	50,193	25,029	25,164	803	524	279	-5	-5	0	20,096	-20
湖南市	54,055	28,015	26,040	3,289	1,862	1,427	49	36	13	23,307	23
高島市	45,075	22,104	22,971	571	274	297	-62	-34	-28	19,697	-20
近江米原市	111,719	55,814	55,905	4,077	2,311	1,766	-39	-31	-8	45,191	68
蒲生郡	32,119	16,467	15,652	832	510	322	-26	-5	-21	12,944	17
日野町	20,618	10,425	10,193	716	448	268	-21	-9	-12	8,488	14
竜王町	11,501	6,042	5,459	116	62	54	-5	4	-9	4,456	3
愛知郡	20,815	10,326	10,489	873	461	412	7	-1	8	8,301	-6
愛荘町	20,815	10,326	10,489	873	461	412	7	-1	8	8,301	-6
犬上郡	20,300	9,807	10,493	303	162	141	9	10	-1	7,951	18
豊郷町	7,006	3,400	3,606	200	117	83	6	3	3	2,968	6
甲良町	6,160	2,966	3,194	66	31	35	7	6	1	2,271	4
多賀町	7,134	3,441	3,693	37	14	23	-4	1	-5	2,712	8

□ 特 集

令和4年10月1日現在 京都府の推計人口

人口 255万 404 人、世帯数 120万 5375 世帯

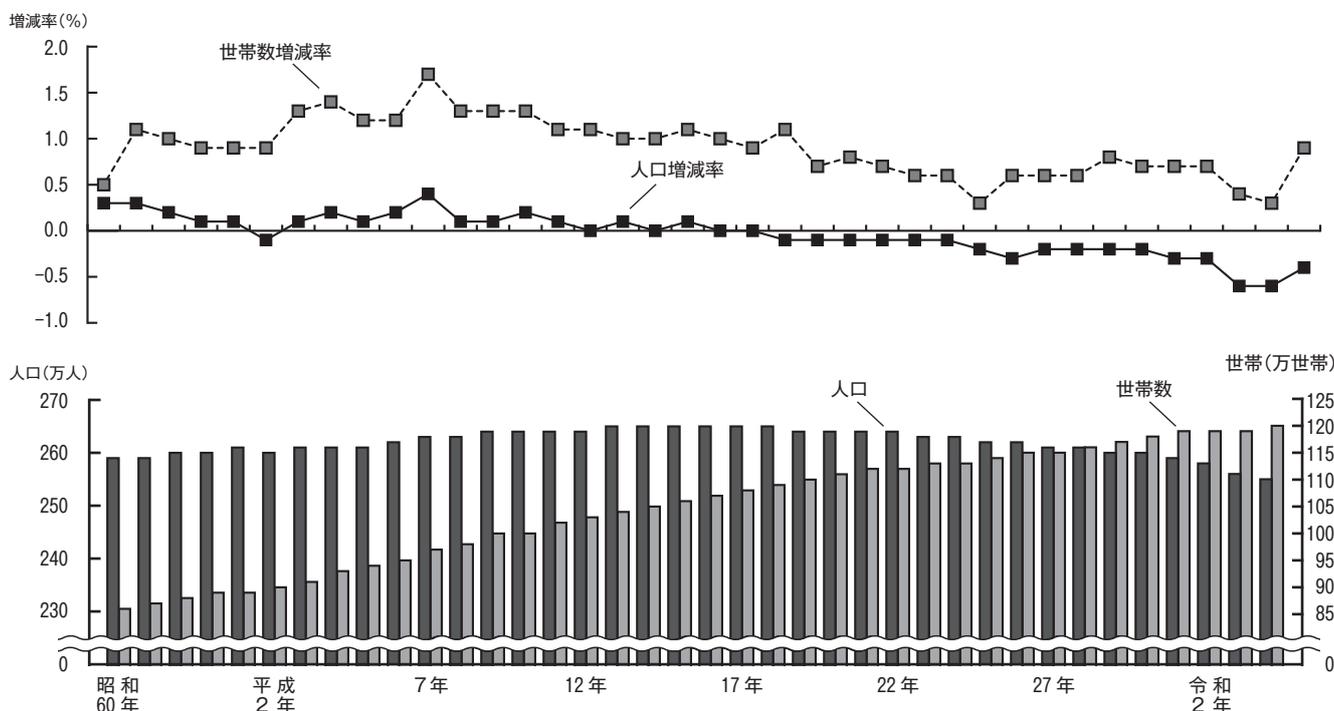
— 前年同月に比べ人口は 0.4% 減少、世帯数は 0.9% 増加 —

府企画統計課社会統計係

令和4年10月1日現在の京都府の推計人口は255万404人となり、この1年間で1万954人、0.4%の減少となりました。

また、世帯数は120万5375世帯となり、この1年間で1万1217世帯、0.9%の増加となりました。(第1表、図1)  
 なお、一世帯当たり人員は2.12人となり、この一年で0.03人の減少となりました。

図1 京都府の人口総数、世帯数の推移 (各年10月1日現在)



人口の増減を原因別にみると、自然動態は出生数が1万5387人、死亡数が3万1137人で、差し引き1万5750人の減少となりました。(第1表、図2)

一方、社会動態は転入者数が12万4333人、転出者数が11万9537人で、差し引き4796人の転入超過となりました。(第1表、図3)

図2 自然動態 (出生数・死亡数) の推移

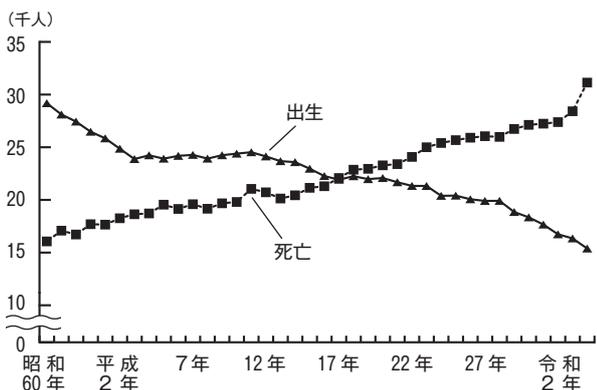
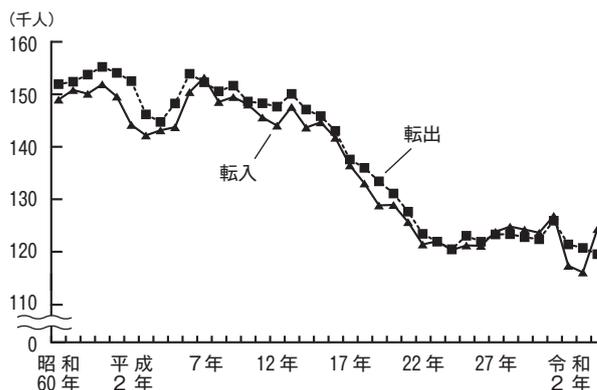


図3 社会動態 (転入者数・転出者数) の推移



第 1 表 京 都 府 市 区 町 村 別 人 口

市区町村	令和4年10月1日				年間（令和3年10月1日から）									
	人 口			世帯数	人									
	計	男	女		増減	増減率	自 然 動 態							
				計			出 生			死 亡				
						計	男	女	計	男	女			
京 都 府 計	2,550,404	1,217,350	1,333,054	1,205,375	△ 10,954	△ 0.4	△ 15,750	15,387	7,811	7,576	31,137	15,792	15,345	
京 都 市	1,448,964	684,591	764,373	739,344	△ 4,992	△ 0.3	△ 8,463	8,591	4,360	4,231	17,054	8,550	8,504	
北 区	116,306	55,466	60,840	58,095	△ 189	△ 0.2	△ 865	546	271	275	1,411	685	726	
上 京 区	83,561	38,294	45,267	49,036	447	0.5	△ 637	364	163	201	1,001	466	535	
左 京 区	165,031	79,291	85,740	87,014	68	0.0	△ 970	815	410	405	1,785	865	920	
中 京 区	109,904	50,307	59,597	61,692	275	0.3	△ 545	656	342	314	1,201	568	633	
東 山 区	35,565	15,651	19,914	20,309	△ 383	△ 1.1	△ 426	143	78	65	569	269	300	
下 京 区	82,627	38,030	44,597	49,283	236	0.3	△ 398	496	256	240	894	430	464	
南 区	101,628	50,479	51,149	51,865	△ 80	△ 0.1	△ 480	764	381	383	1,244	643	601	
右 京 区	200,317	93,814	106,503	99,284	△ 913	△ 0.5	△ 1,123	1,255	594	661	2,378	1,209	1,169	
伏 見 区	274,317	131,306	143,011	132,745	△ 1,538	△ 0.6	△ 1,574	1,759	899	860	3,333	1,706	1,627	
山 科 区	132,972	62,316	70,656	64,987	△ 1,281	△ 1.0	△ 859	823	449	374	1,682	898	784	
西 京 区	146,736	69,637	77,099	65,034	△ 1,634	△ 1.1	△ 586	970	517	453	1,556	811	745	
14 市 計	978,473	473,705	504,768	415,703	△ 4,776	△ 0.5	△ 6,232	6,101	3,095	3,006	12,333	6,381	5,952	
福 知 山 市	76,402	38,193	38,209	33,932	△ 359	△ 0.5	△ 474	608	312	296	1,082	530	552	
舞 鶴 市	77,944	39,063	38,881	34,509	△ 1,076	△ 1.4	△ 693	491	242	249	1,184	614	570	
綾 部 市	31,004	14,873	16,131	13,784	△ 452	△ 1.4	△ 463	154	73	81	617	308	309	
宇 治 市	176,915	84,788	92,127	74,212	△ 1,377	△ 0.8	△ 1,073	1,037	527	510	2,110	1,104	1,006	
宮 津 市	16,096	7,633	8,463	7,212	△ 261	△ 1.6	△ 230	73	39	34	303	138	165	
亀 岡 市	85,352	41,232	44,120	35,023	△ 489	△ 0.6	△ 567	462	226	236	1,029	536	493	
城 陽 市	73,494	35,292	38,202	30,614	△ 604	△ 0.8	△ 582	394	203	191	976	494	482	
向 日 市	56,377	26,815	29,562	23,665	△ 216	△ 0.4	△ 176	405	214	191	581	308	273	
長 岡 京 市	81,296	39,021	42,275	34,444	520	0.6	△ 216	589	291	298	805	424	381	
八 幡 市	69,624	33,611	36,013	31,003	△ 353	△ 0.5	△ 475	357	187	170	832	485	347	
京 田 辺 市	74,412	36,516	37,896	32,664	466	0.6	△ 191	468	234	234	659	357	302	
京 丹 後 市	49,257	23,614	25,643	20,160	△ 811	△ 1.6	△ 645	294	149	145	939	464	475	
南 丹 市	31,058	15,160	15,898	13,334	△ 263	△ 0.8	△ 380	149	74	75	529	263	266	
木 津 川 市	79,242	37,894	41,348	31,147	499	0.6	△ 67	620	324	296	687	356	331	
郡 部 計	122,967	59,054	63,913	50,328	△ 1,186	△ 1.0	△ 1,055	695	356	339	1,750	861	889	
乙 訓 郡 大 山 崎 町	16,242	7,840	8,402	6,741	188	1.2	△ 1	176	97	79	177	95	82	
久 世 郡 久 御 山 町	14,987	7,288	7,699	6,458	△ 50	△ 0.3	△ 106	82	47	35	188	105	83	
綴 喜 郡	井 手 町	7,129	3,498	3,631	3,104	△ 162	△ 2.2	△ 82	36	15	21	118	57	61
	宇 治 田 原 町	8,645	4,361	4,284	3,441	△ 120	△ 1.4	△ 71	42	24	18	113	56	57
相 楽 郡	笠 置 町	1,050	499	551	486	△ 43	△ 3.9	△ 32	1	-	1	33	14	19
	和 束 町	3,312	1,553	1,759	1,356	△ 93	△ 2.7	△ 57	12	10	2	69	32	37
	精 華 町	35,921	17,055	18,866	13,798	△ 98	△ 0.3	△ 124	197	86	111	321	159	162
南 山 城 村	2,305	1,092	1,213	1,031	△ 38	△ 1.6	△ 21	4	3	1	25	11	14	
	京 丹 波 町	12,275	5,837	6,438	5,151	△ 320	△ 2.5	△ 266	36	20	16	302	152	150
与 謝 郡	伊 根 町	1,844	903	941	827	△ 32	△ 1.7	△ 33	12	6	6	45	19	26
	与 謝 野 町	19,257	9,128	10,129	7,935	△ 418	△ 2.1	△ 262	97	48	49	359	161	198
(再掲)	丹 後 地 域	86,454	41,278	45,176	36,134	△ 1,522	△ 1.7	△ 1,170	476	242	234	1,646	782	864
	中 丹 地 域	185,350	92,129	93,221	82,225	△ 1,887	△ 1.0	△ 1,630	1,253	627	626	2,883	1,452	1,431
	南 丹 地 域	128,685	62,229	66,456	53,508	△ 1,072	△ 0.8	△ 1,213	647	320	327	1,860	951	909
	京 都 市 域	1,448,964	684,591	764,373	739,344	△ 4,992	△ 0.3	△ 8,463	8,591	4,360	4,231	17,054	8,550	8,504
	山 城 地 域	700,951	337,123	363,828	294,164	△ 1,481	△ 0.2	△ 3,274	4,420	2,262	2,158	7,694	4,057	3,637
	(乙 訓 地 域)	153,915	73,676	80,239	64,850	492	0.3	△ 393	1,170	602	568	1,563	827	736
	(山 城 北 部 地 域)	350,794	168,838	181,956	148,832	△ 2,666	△ 0.8	△ 2,389	1,948	1,003	945	4,337	2,301	2,036
	(学 研 地 域)	189,575	91,465	98,110	77,609	867	0.5	△ 382	1,285	644	641	1,667	872	795
(相 楽 東 部 地 域)	6,667	3,144	3,523	2,873	△ 174	△ 2.5	△ 110	17	13	4	127	57	70	

注 1 令和2年国勢調査の人口及び世帯数を基礎として推計したものであり、外国人も含む。  
 2 社会動態（転入及び転出）には、同一市町村内（ただし京都市は同一区内）の移動は含まない。  
 また、京都府計及び京都市計はこれらを積み上げた数値であり、京都府内市町村間移動及び京都市内区間移動を含む。  
 3 地域区分は次のとおり。

丹後地域	宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町	山城地域		
中丹地域	福知山市、舞鶴市、綾部市	乙訓地域	向日市、長岡京市、大山崎町	
南丹地域	亀岡市、南丹市、京丹波町		宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、井手町、宇治田原町	
京都市域	京都市		学研地域	京田辺市、木津川市、精華町
			相楽東部地域	笠置町、和束町、南山城村

及び世帯数の動態

令和4年9月30日まで)								令和3年10月1日					
口							世帯数		人口			世帯数	
増減	社 会 動 態			社 会 動 態			増減数	増減率	計	男	女		
	計	男	女	計	男	女							
人	人	人	人	人	人	人	世帯	%	人	人	人	世帯	
4,796	124,333	64,618	59,715	119,537	62,165	57,372	11,217	0.9	2,561,358	1,222,878	1,338,480	1,194,158	
<b>3,471</b>	<b>82,538</b>	<b>41,820</b>	<b>40,718</b>	<b>79,067</b>	<b>40,109</b>	<b>38,958</b>	<b>7,773</b>	<b>1.1</b>	<b>1,453,956</b>	<b>687,070</b>	<b>766,886</b>	<b>731,571</b>	
676	6,167	3,105	3,062	5,491	2,711	2,780	759	1.3	116,495	55,486	61,009	57,336	
1,084	6,742	3,342	3,400	5,658	2,821	2,837	1,096	2.3	83,114	38,076	45,038	47,940	
1,038	10,092	5,018	5,074	9,054	4,599	4,455	1,160	1.4	164,963	79,327	85,636	85,854	
820	8,614	4,225	4,389	7,794	3,712	4,082	1,081	1.8	109,629	50,020	59,609	60,611	
43	2,594	1,208	1,386	2,551	1,178	1,373	△ 4	△ 0.0	35,948	15,812	20,136	20,313	
634	7,323	3,573	3,750	6,689	3,296	3,393	802	1.7	82,391	37,927	44,464	48,481	
400	7,236	3,929	3,307	6,836	3,725	3,111	871	1.7	101,708	50,537	51,171	50,994	
210	9,708	4,812	4,896	9,498	4,764	4,734	893	0.9	201,230	94,381	106,849	98,391	
36	12,826	6,914	5,912	12,790	6,922	5,868	984	0.7	275,855	132,121	143,734	131,761	
△ 422	5,454	2,805	2,649	5,876	2,978	2,898	185	0.3	134,253	62,938	71,315	64,802	
△ 1,048	5,782	2,889	2,893	6,830	3,403	3,427	△ 54	△ 0.1	148,370	70,445	77,925	65,088	
<b>1,456</b>	<b>37,157</b>	<b>20,345</b>	<b>16,812</b>	<b>35,701</b>	<b>19,507</b>	<b>16,194</b>	<b>3,190</b>	<b>0.8</b>	<b>983,249</b>	<b>476,153</b>	<b>507,096</b>	<b>412,513</b>	
115	3,107	1,880	1,227	2,992	1,736	1,256	300	0.9	76,761	38,267	38,494	33,632	
△ 383	3,643	2,550	1,093	4,026	2,628	1,398	△ 329	△ 0.9	79,020	39,513	39,507	34,838	
11	1,118	579	539	1,107	561	546	80	0.6	31,456	15,090	16,366	13,704	
△ 304	6,304	3,449	2,855	6,608	3,597	3,011	352	0.5	178,292	85,513	92,779	73,860	
△ 31	541	275	266	572	302	270	5	0.1	16,357	7,759	8,598	7,207	
78	2,656	1,354	1,302	2,578	1,340	1,238	249	0.7	85,841	41,528	44,313	34,774	
△ 22	2,254	1,170	1,084	2,276	1,206	1,070	85	0.3	74,098	35,619	38,479	30,529	
△ 40	2,152	1,079	1,073	2,192	1,119	1,073	111	0.5	56,593	26,949	29,644	23,554	
736	3,735	1,936	1,799	2,999	1,588	1,411	520	1.5	80,776	38,806	41,970	33,924	
122	2,674	1,440	1,234	2,552	1,344	1,208	306	1.0	69,977	33,813	36,164	30,697	
657	3,420	1,855	1,565	2,763	1,480	1,283	636	2.0	73,946	36,264	37,682	32,028	
△ 166	1,160	562	598	1,326	658	668	25	0.1	50,068	24,025	26,043	20,135	
117	1,261	700	561	1,144	634	510	82	0.6	31,321	15,283	16,038	13,252	
566	3,132	1,516	1,616	2,566	1,314	1,252	768	2.5	78,743	37,724	41,019	30,379	
△ 131	<b>4,638</b>	<b>2,453</b>	<b>2,185</b>	<b>4,769</b>	<b>2,549</b>	<b>2,220</b>	<b>254</b>	<b>0.5</b>	<b>124,153</b>	<b>59,655</b>	<b>64,498</b>	<b>50,074</b>	
189	826	435	391	637	348	289	117	1.8	16,054	7,751	8,303	6,624	
56	899	505	394	843	484	359	129	2.0	15,037	7,325	7,712	6,329	
△ 80	243	144	99	323	158	165	△ 51	△ 1.6	7,291	3,554	3,737	3,155	
△ 49	358	217	141	407	229	178	37	1.1	8,765	4,405	4,360	3,404	
△ 11	26	10	16	37	17	20	△ 21	△ 4.1	1,093	520	573	507	
△ 36	81	48	33	117	55	62	△ 20	△ 1.5	3,405	1,582	1,823	1,376	
26	1,308	668	640	1,282	665	617	138	1.0	36,019	17,125	18,894	13,660	
△ 17	59	35	24	76	46	30	3	0.3	2,343	1,111	1,232	1,028	
△ 54	379	176	203	433	200	233	△ 19	△ 0.4	12,595	5,993	6,602	5,170	
1	63	35	28	62	34	28	△ 10	△ 1.2	1,876	915	961	837	
△ 156	396	180	216	552	313	239	△ 49	△ 0.6	19,675	9,374	10,301	7,984	
△ 352	2,160	1,052	1,108	2,512	1,307	1,205	△ 29	△ 0.1	87,976	42,073	45,903	36,163	
△ 257	7,868	5,009	2,859	8,125	4,925	3,200	51	0.1	187,237	92,870	94,367	82,174	
141	4,296	2,230	2,066	4,155	2,174	1,981	312	0.6	129,757	62,804	66,953	53,196	
3,471	82,538	41,820	40,718	79,067	40,109	38,958	7,773	1.1	1,453,956	687,070	766,886	731,571	
1,793	27,471	14,507	12,964	25,678	13,650	12,028	3,110	1.1	702,432	338,061	364,371	291,054	
885	6,713	3,450	3,263	5,828	3,055	2,773	748	1.2	153,423	73,506	79,917	64,102	
△ 277	12,732	6,925	5,807	13,009	7,018	5,991	858	0.6	353,460	170,229	183,231	147,974	
1,249	7,860	4,039	3,821	6,611	3,459	3,152	1,542	2.0	188,708	91,113	97,595	76,067	
△ 64	166	93	73	230	118	112	△ 38	△ 1.3	6,841	3,213	3,628	2,911	

市町村別にみると、この1年間で人口が増加したのは3市1町となり、長岡京市が520人と最も増加し、次いで木津川市が499人、京田辺市が466人、大山崎町が188人の増加となりました。

また、増加率については、大山崎町が1.2%と最も増加し、次いで長岡京市、京田辺市、木津川市が0.6%の増加となりました。

一方、人口が減少したのは12市10町村となり、京都市が4992人と最も減少し、次いで宇治市が1377人、舞鶴市が1076人、京丹後市が811人の減少となりました。

また、減少率については、笠置町が3.9%と最も減少し、次いで和束町が2.7%、京丹波町が2.5%、井手町が2.2%の減少となりました。

(第1表、図4)

世帯数の増減をみると、14市5町村が増加し、1市6町が減少し、京都市が7773世帯と最も増加し、一方、最も減少したのは舞鶴市で329世帯の減少となりました。

また、増減率は木津川市が2.5%と最も増加し、一方、最も減少したのは笠置町で4.1%の減少となりました。

(第1表、図5)

図4 市町村別人口増減率

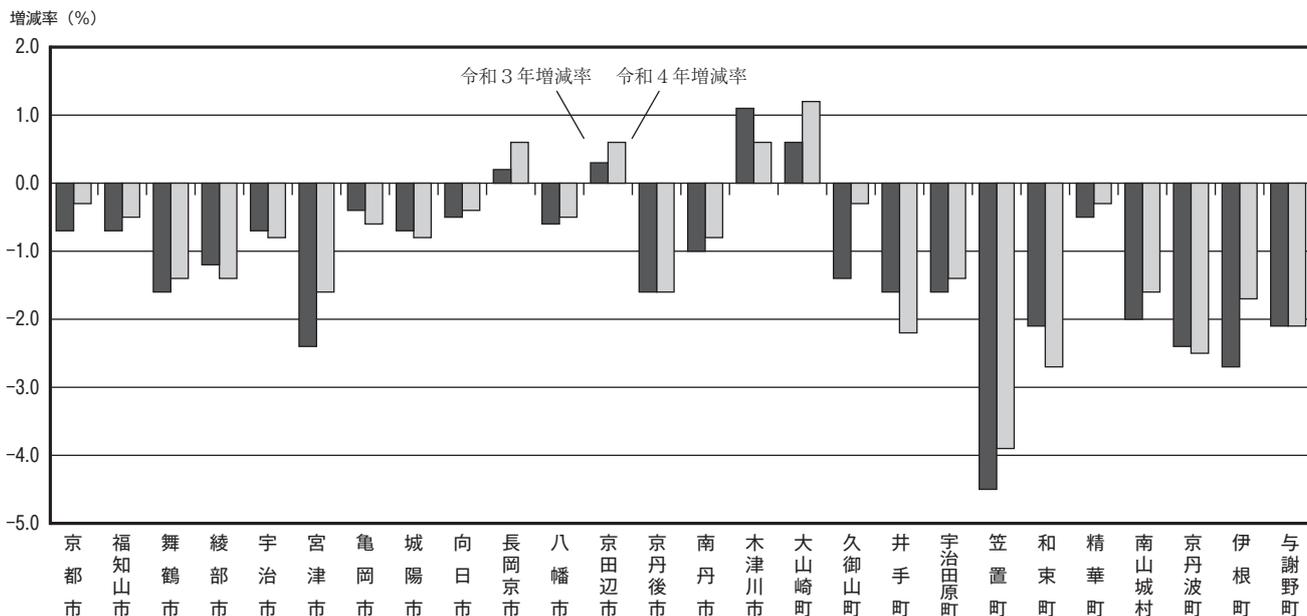


図5 市町村別世帯増減率

